

秋田市の公共施設について

- ・ 現状と今後の取組
- ・ 施設保有量の見直し

～持続可能な公共施設サービスを目指して～

本日まで説明する内容

1 公共施設を取り巻く現状と課題

2 保有優先度評価の方法

3 評価結果の全体像

4 今後のスケジュール

5 意見交換

1 公共施設を取り巻く現状と課題

～財政状況、人口減少、保有面積、老朽化、維持費用～

(1) 厳しい財政状況

歳入・歳出の推移等



第15次秋田市総合計画（令和8年3月）

歳入

- ・ 事業所税の課税要件喪失
- ・ 人口減少による地方交付税の減小

歳出

- ・ 物価や労務単価の上昇による事業コストの増

基金

- ・ 主要2基金の残高が低水準で推移



令和7年度
既存事業の見直し
(1,101事業)

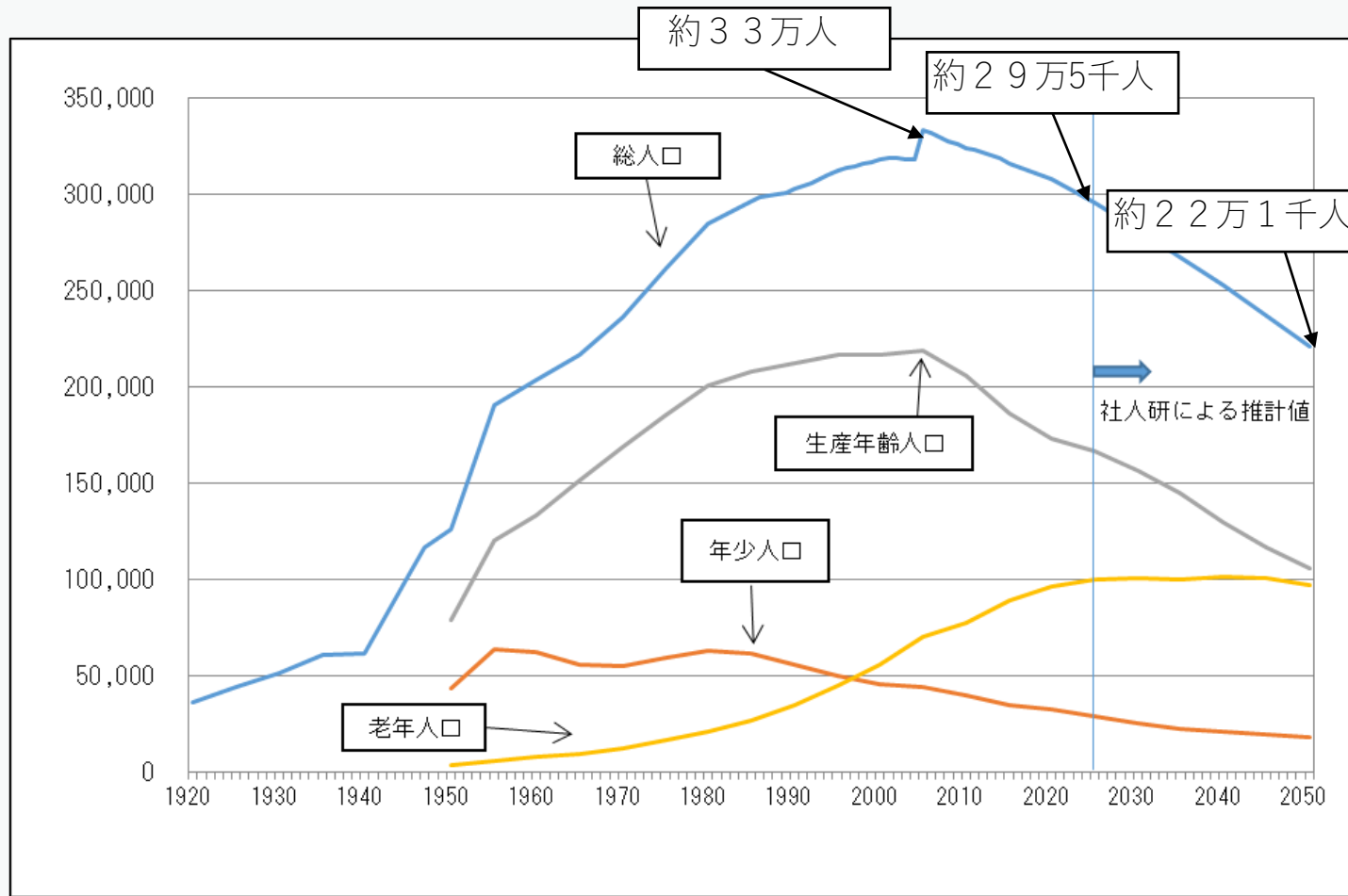


413事業を
事業評価



- ・ 118事業を廃止・見直し
- ・ 事業費
約6億4,500万円を削減

(2)人口減少



秋田市人口ビジョン（令和8年3月）

平成17年（2005年）
約33万人

↓

令和6年（2024年）
約29万5千人

↓

令和32年（2050年）
約22万1千人
（国立社会保障・人口問題研究所 推計）

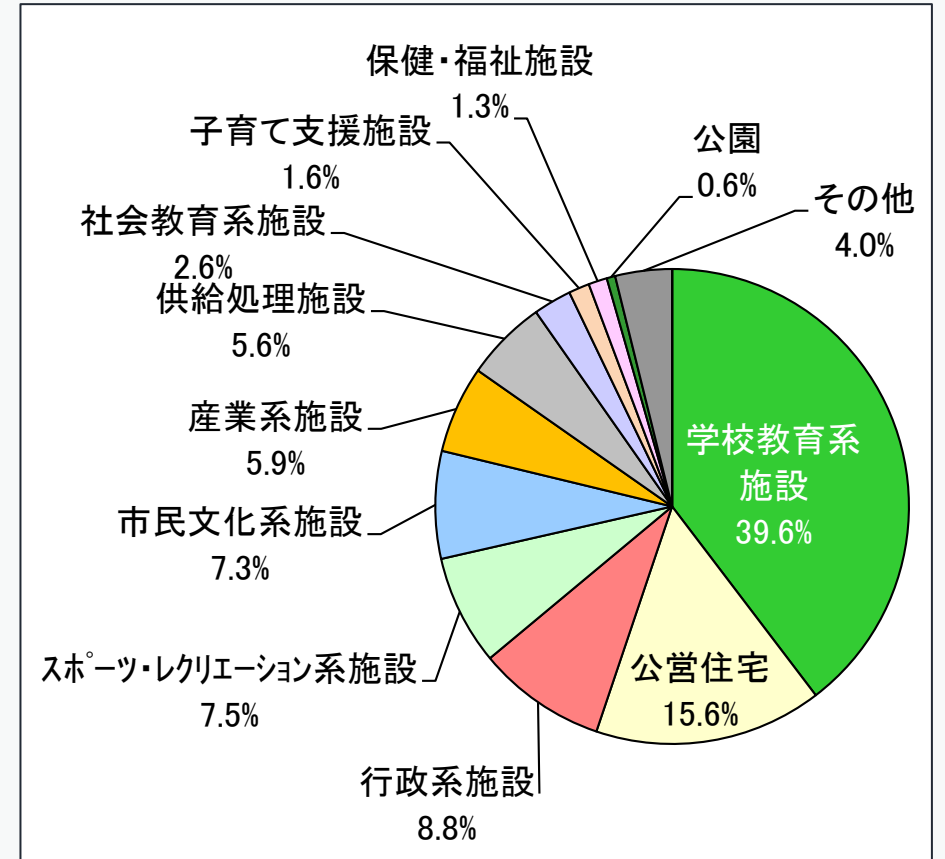
・ 少子高齢化
生産年齢人口の減少
老年人口割合
2050年：44%

(3) -1 秋田市が保有する公共施設の総床面積（建物用途別）

令和元年度時点

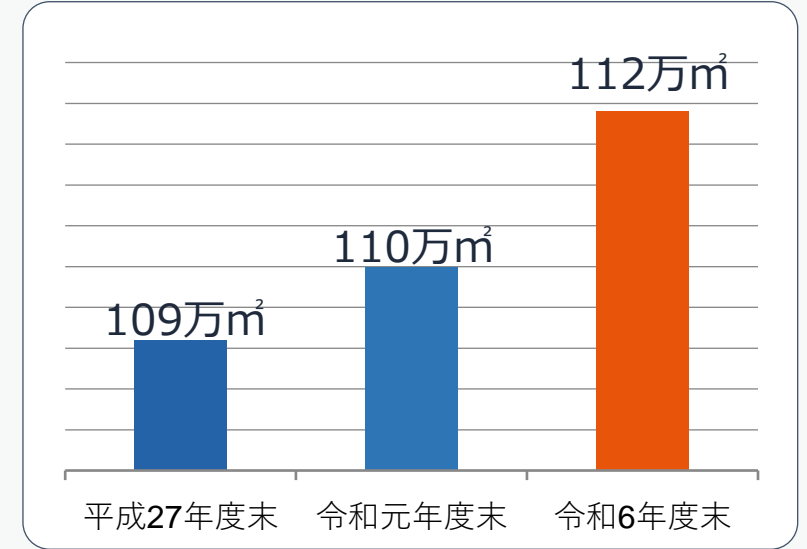
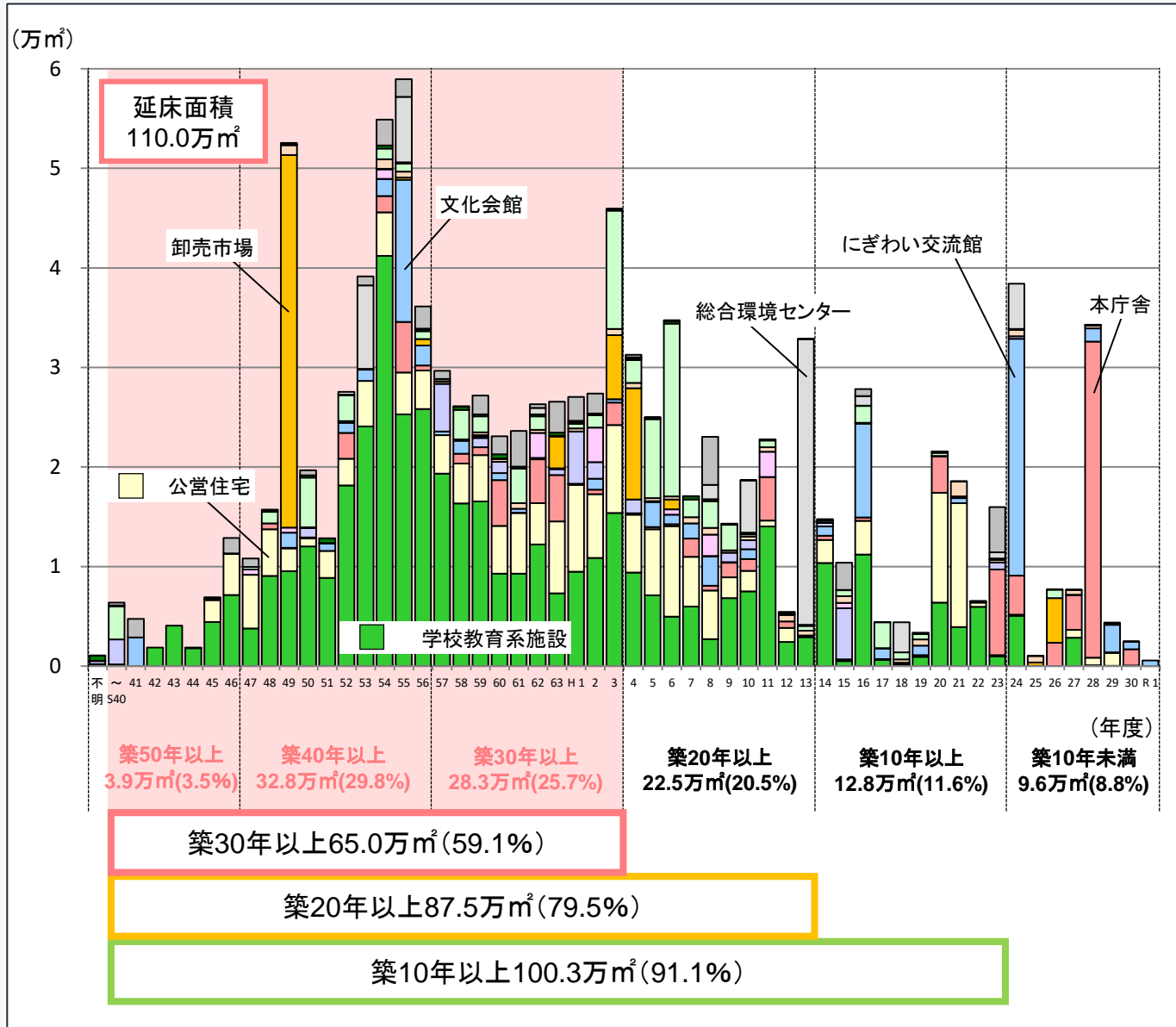
施設類型	主な施設	施設数	棟数	延床面積 (m ²)
学校教育系施設	小学校、中学校、高等学校 等	71	736	435,970.77
公営住宅	市営住宅	24	271	171,184.50
行政系施設	市役所、市民サービスセンター、消防施設 等	74	275	96,685.50
スポーツ・レクリエーション系施設	体育館、球技場、グラウンド、宿泊施設、観光施設 等	54	228	82,349.87
市民文化系施設	文化会館、市民交流プラザ、にぎわい交流館、コミュニティセンター 等	48	71	80,467.54
産業系施設	卸売市場、勤労者総合福祉センター 等	8	59	65,309.72
供給処理施設	総合環境センター、汚泥再生処理センター 等	14	53	61,092.46
社会教育系施設	図書館、博物館 等	21	63	28,636.14
子育て支援施設	保育所、幼稚園、児童館、児童センター等	42	45	15,601.88
保健・福祉施設	保健センター、老人福祉センター等	11	17	13,986.32
公園	管理棟、便所、あずまや 等 大森山動物園、太平山リゾート公園 等	108	251	6,404.42
その他	駐車場、貸付施設 等	45	115	42,570.41
計		520	2,184	1,100,259.53

約 110万m²



秋田市公共施設等総合管理計画
(令和4年1月改訂)

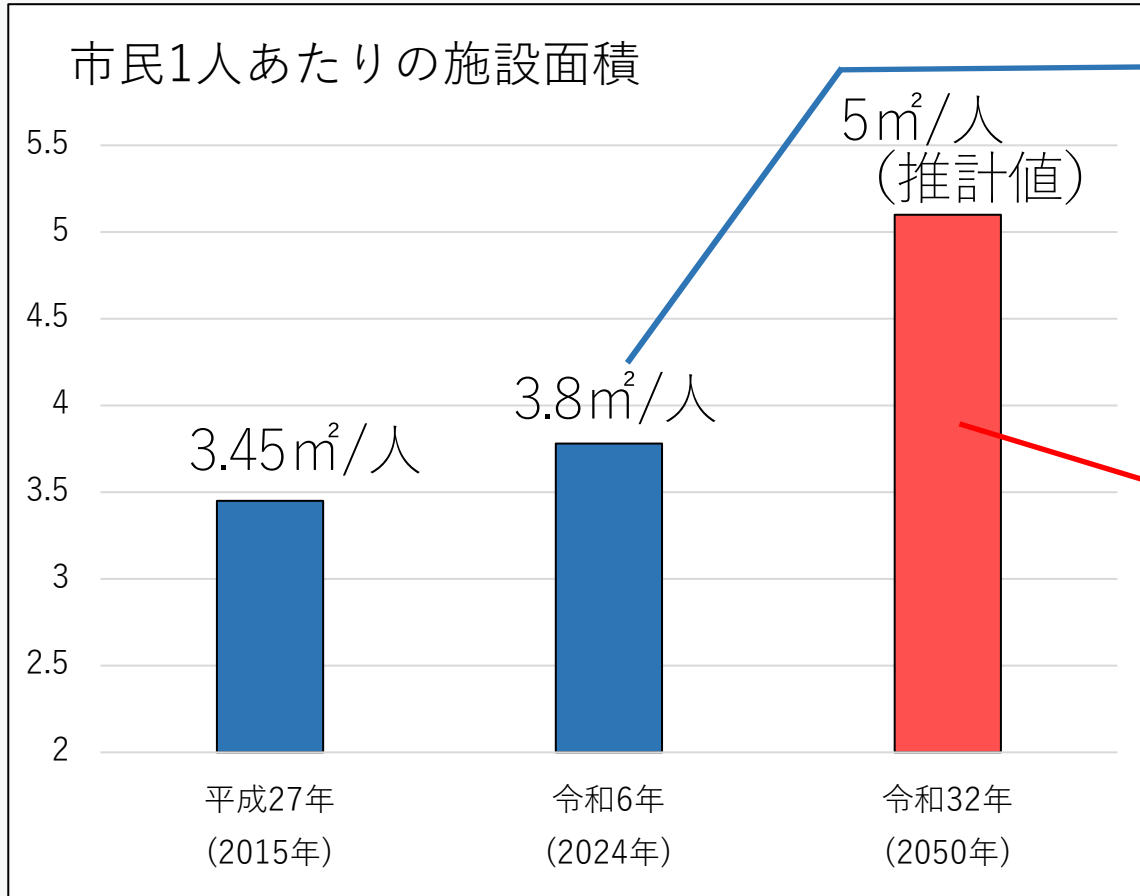
(3) -2 秋田市が保有する公共施設の総床面積（建築年代別）



ニーズの変化により保有量増加

- 学校教育系施設
- 社会教育系施設
- スポーツ・レクリエーション系施設
- 行政系施設
- 産業系施設
- 供給処理施設
- 公営住宅
- 保健・福祉施設
- 公園
- 市民文化系施設
- 子育て支援施設
- その他

(4) 秋田市民1人あたりの施設保有面積



令和6年

総面積 112万m²

秋田市民1人あたりの施設保有 (税負担) 面積 **約3.8m²/人**

令和32年

人口減少の進行
112万m²維持と仮定
→将来世代の負担増加

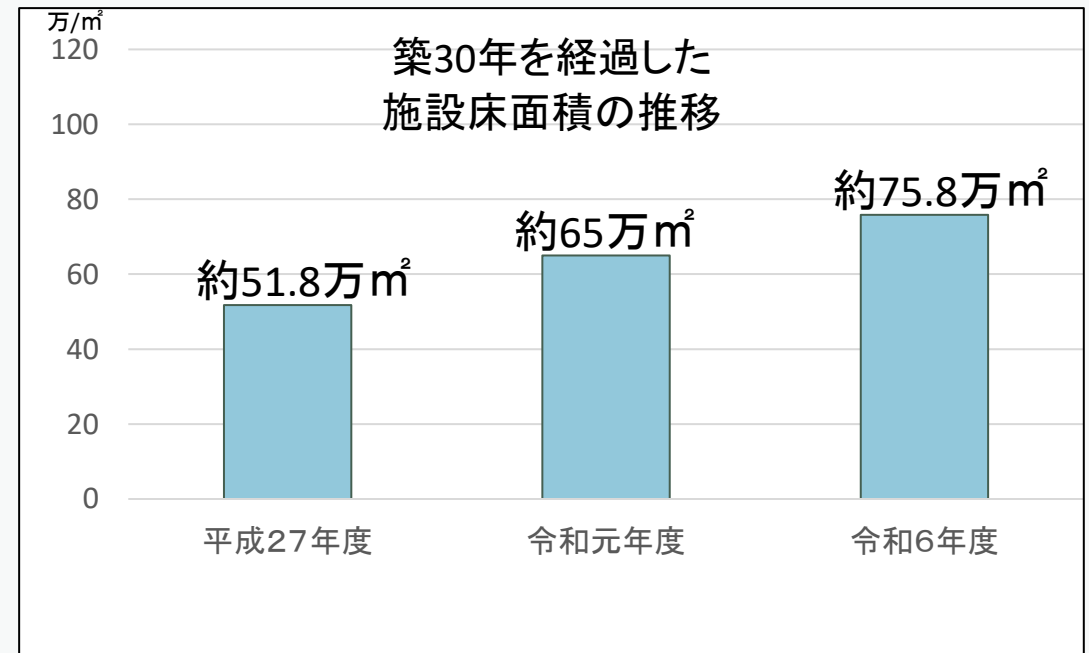
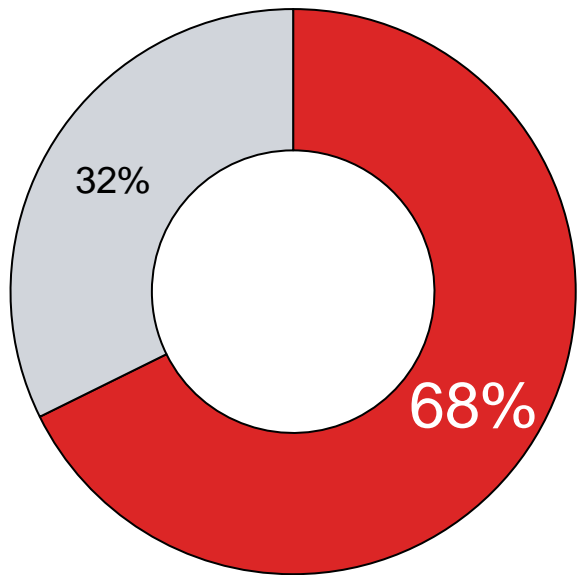
約5m²/人

人口減少の中、25年後も3.8m²/人を維持するには28万m²削減 → 現実的ではない
(市内の小中学校やコミセンをすべて削減しても足りない)

(5) 急速な老朽化

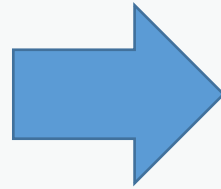
全施設の約 **7割** が築30年を超える老朽施設

時点	計画策定時 (H27末)	改訂時 (R元末)	R6年度末
築30年超	51.8 万㎡	65.0 万㎡	75.8 万㎡
割合	47.5 %	59.1 %	67.7 %



(6) 維持補修費用

施設の保全や破損等に対応するための経費



人口減少による市民負担の増加

市民1人当たりのコストが相対的に増加

維持補修費増加の背景

- ・ 人件費、資材価格の上昇
- ・ 多くの施設で老朽化が進行
→修繕費は増えているが、修繕が
必要な施設に追い付いていない

公共施設を取り巻く施設の現状と課題

厳しい財政状況

人口減少

保有量の増加

老朽化の進行

維持・更新コストの上昇

今ある公共施設をすべて維持し続けることは困難

将来世代へ負担を先送りしないために、
施設の総量を見直しつつ、サービスを維持



長期的な視点で、保有量の見直しと効率的な施設運営が必要₁₀



2 保有優先度評価の方法

定量評価・定性評価・総合評価の3ステップ

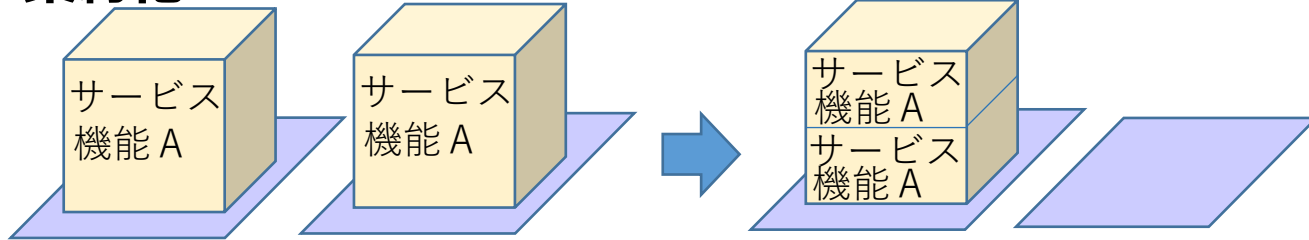
保有優先度評価の目的



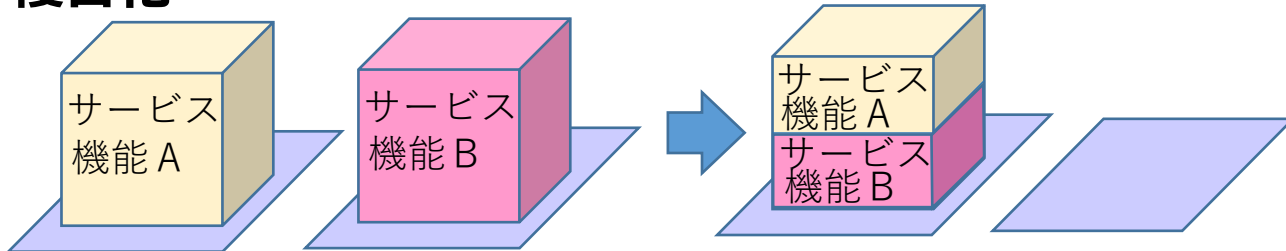
将来に向けた3つの選択肢

施設の今後のあり方を短期、中期、長期の視点で整理します

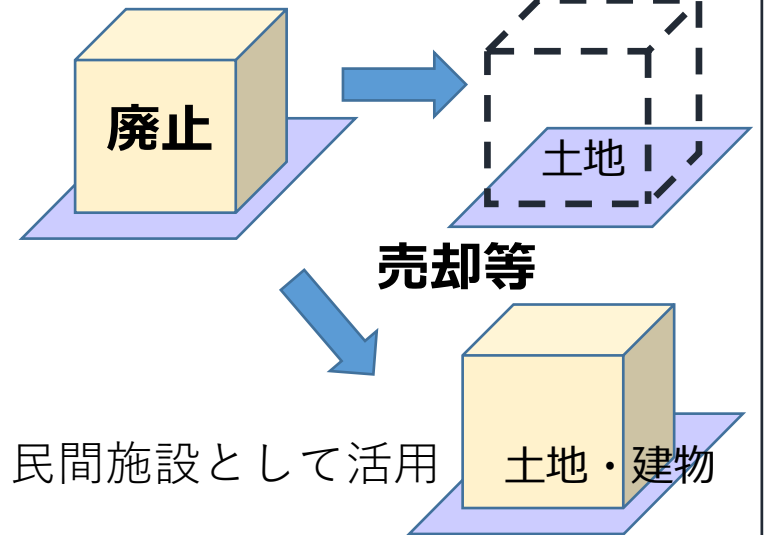
集約化



複合化

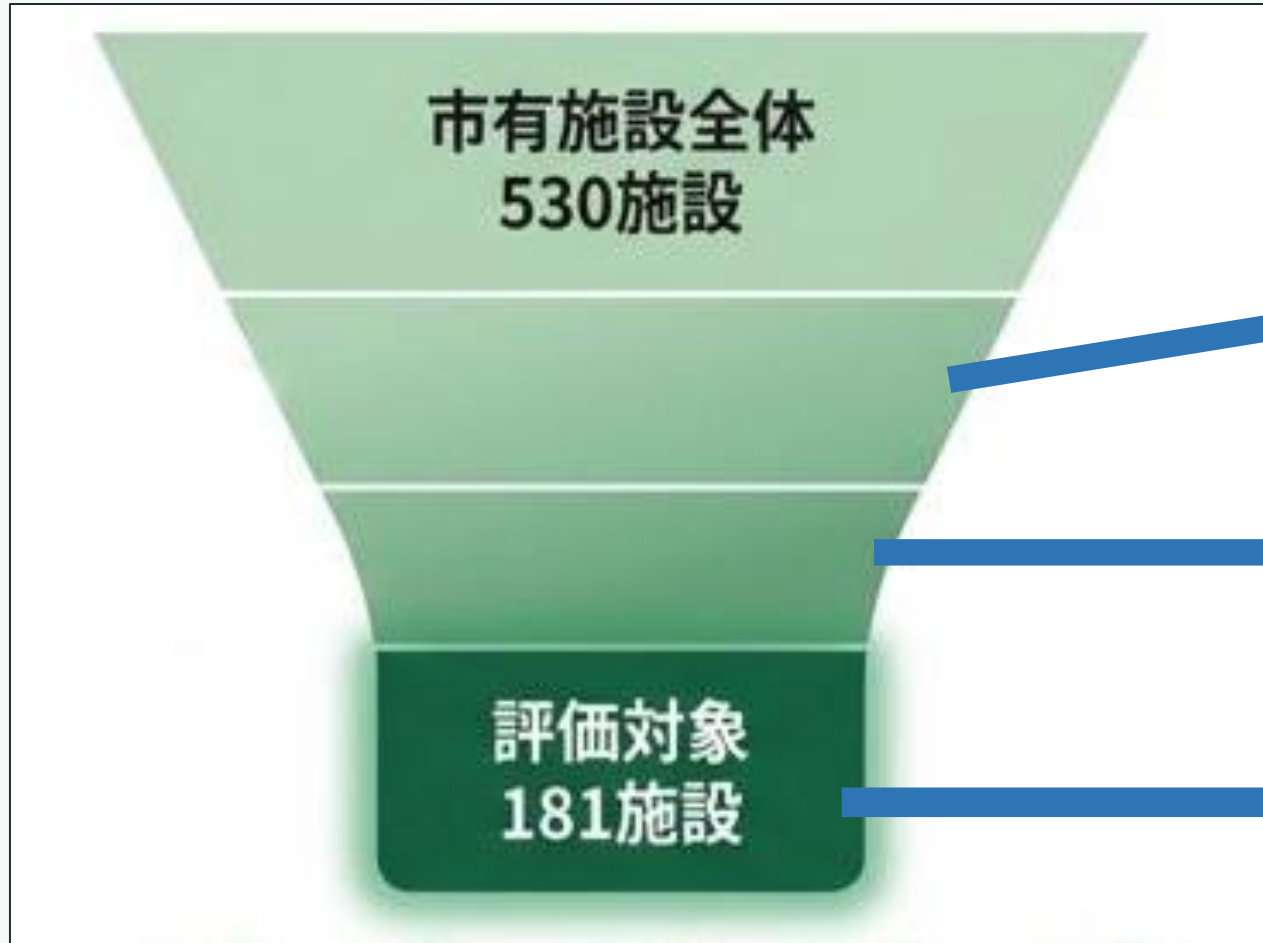


管理運営の効率化、サービスの集約・複合化



維持 当面は維持

どの施設を見直すのか



200㎡以下の小さな施設を除く
(221施設)
(公園あずまや、消防器具置場など)

小中学校：適正配置の協議が別途、
進められている

文化財施設：評価にそぐわない
(128施設)

評価対象施設

コミセン、児童館、公営住宅、
スポーツ施設、集会施設など



評価プロセス

1次評価

定量的評価

建物と機能について客観的な
データ分析

建物状況
(ハード面)

+

機能状況
(ソフト面)

実施時期：R6年度

2次評価

定性的評価

データでは計れない施設の
特性を把握

公共性

+

有効性

+

代替性

実施時期：R7年3~4月

総合評価

方針（案）の取りまとめ

施設所管課へのヒアリング・調整を経て施設ご
との方針(案)を作成

実施時期：R7年7~12月



1次評価（定量的評価）

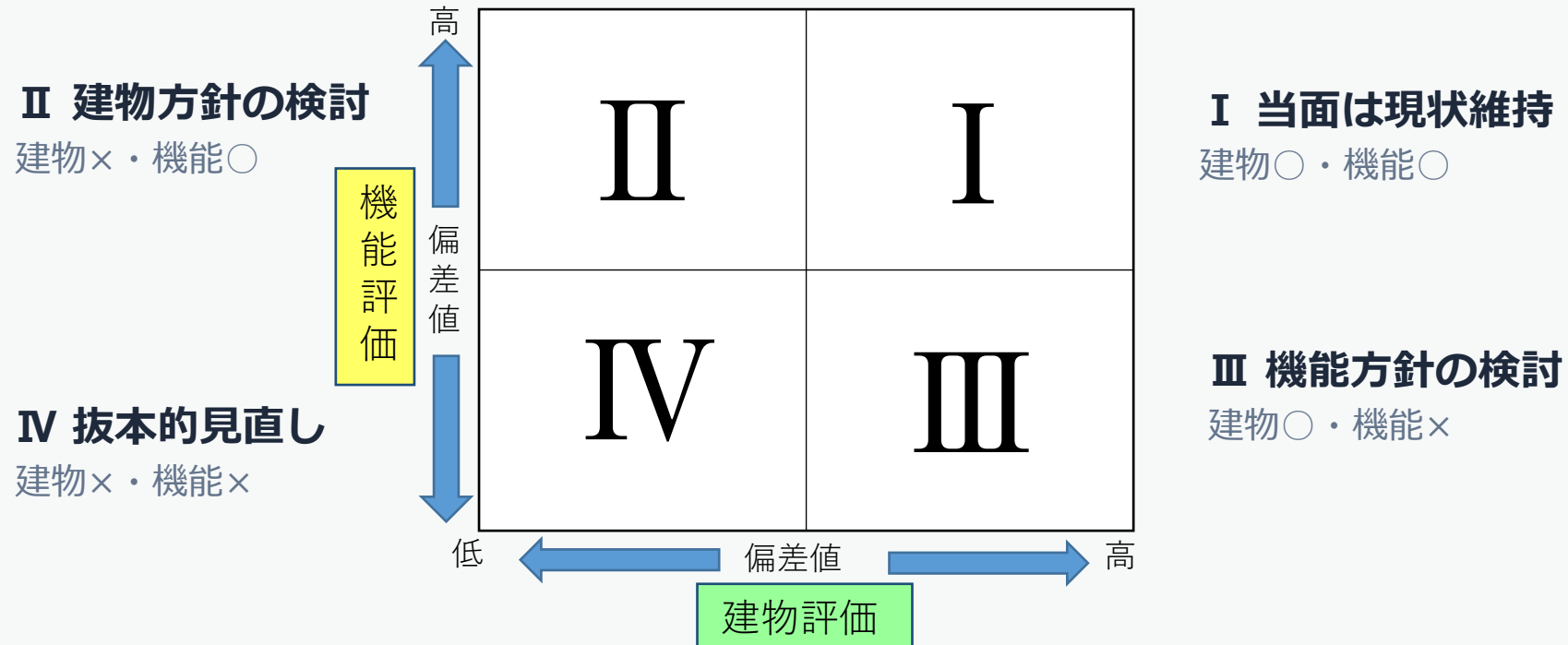
建物評価（ハード面）

- ① 残耐用年数
- ② 健全度（日常点検結果）
- ③ 耐震性能（新耐震基準等）

機能評価（ソフト面）

- ① 利用状況（年間利用者数等）
- ② 収支状況（総コストー収入）
- ※入居率（公営住宅等）

評価結果：施設用途ごとに2軸評価で4つの領域に分類



2次評価（定性的評価）

1次評価でⅡ・Ⅲ・Ⅳに分類された施設を対象に、数値で測れない観点から評価（施設所管課が実施）

① 公共性

- 法律で義務付けられた施設か
- 避難所に指定されているか

② 有効性

- 今後も利用見込みがあるか
- 利用者はその地域の住民か
- 設置目的の意義は低下していないか

③ 代替性

- 民間で代替可能か
- 他施設への機能集約ができるか
- 民間への譲渡・委託が可能か

評価結果：機能と建物それぞれを「継続」「見直し（改善）」「廃止」に分類

3 評価結果の全体像

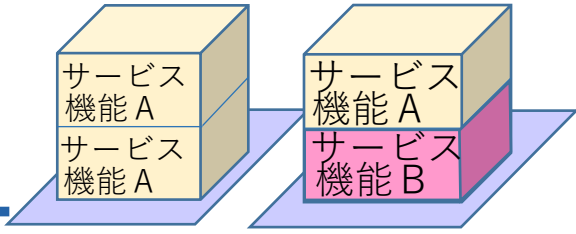
181施設の方向性の案

方針案の全体像（181施設）

集約・複合化

53/181

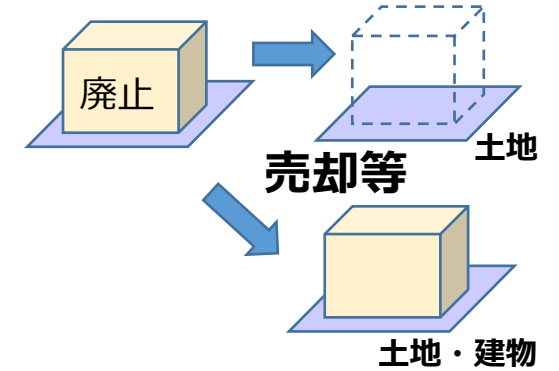
短期16 / 中期17 / 長期20



廃止・譲渡

13/181

短期7 / 中期3 / 長期3



県の動向により検討

2/181

河辺高齢者健康づくりセンター
ユフォーレ公園

維持

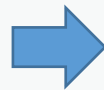
113/181

当面は現状を維持

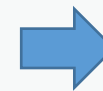


これらの取り組み時期を3つのスパンに分け、整理しました

短期
～令和13年



中期
令和14～令和18年



長期
令和19年～令和28年

取り組み時期：短期（～令和13年）

中央

中通児童館
築山児童センター

北部

職業訓練センター

西部・南部
中央

秋田テルサ（中期～長期）
西部体育館
サンライフ秋田（中期～長期）

雄和

雄和市民サービスセンター
新波保育所
雄和中央保育所
川添保育所

南部

大住児童館（大住小学校）

雄和

雄和観光交流館
雄和農産物加工所
雄和サイクリングターミナル

取り組み時期：中期（令和14年～令和18年）

北部 土崎児童センター
（土崎小学校）

北部 将軍野地区コミュニティセンター
将軍野高齢者学習センター

北部 土崎みなと会館

北部 下新城地区コミュニティセンター
下新城交流センター

東部 旭川地区コミュニティセンター
旭川児童館

東部 城東消防署
広面出張所

雄和 雄和花の森野球場
（雄和新波野球場）

取り組み時期：長期（令和19年～令和28年）

中央

秋操近隣公園（泉語らいの家）

西部・南部

勝平出張所

牛島出張所

西部・南部
中央

秋田テルサ

西部体育館（短期）

サンライフ秋田

雄和

雄和体育館

雄和南体育館





中通児童館

築14年 252.57㎡



築山児童センター

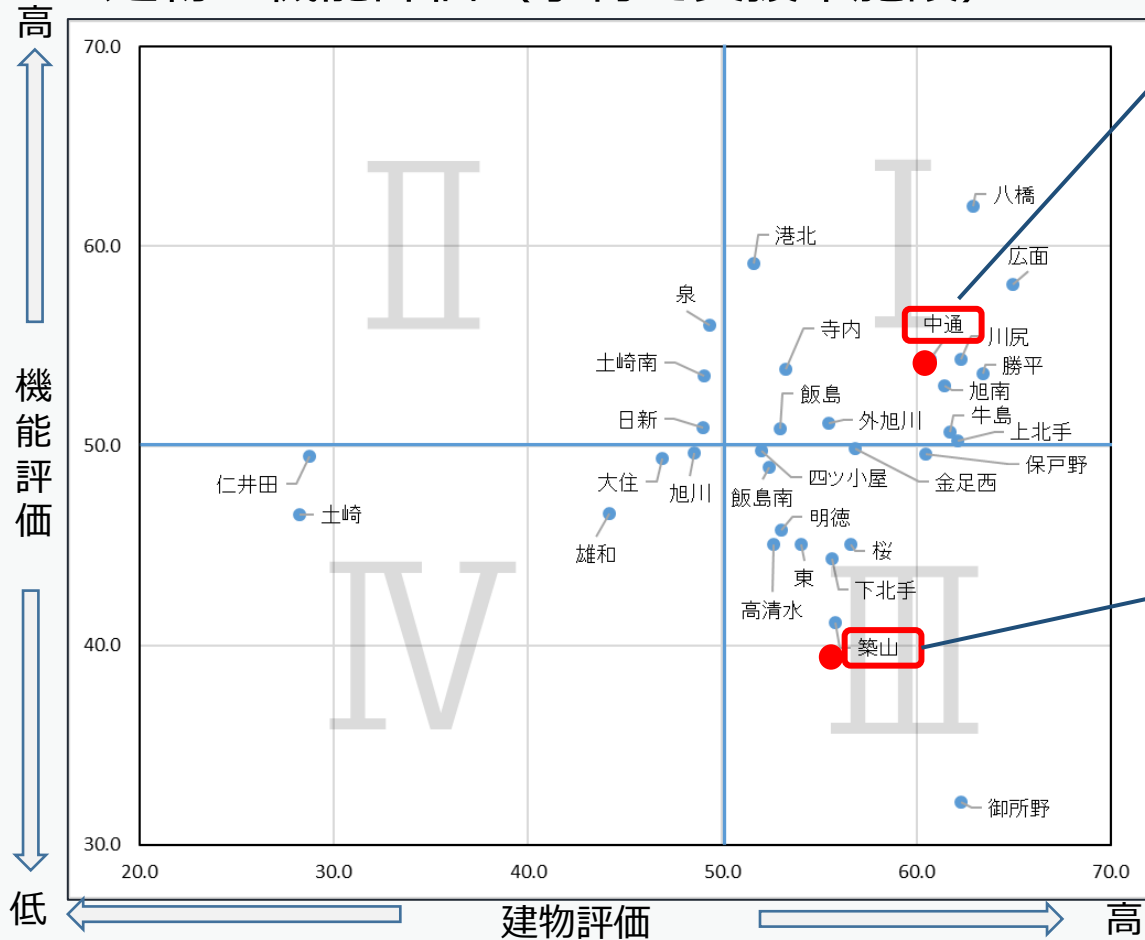
築24年 491.06㎡

取組時期

短期（～令和13年）

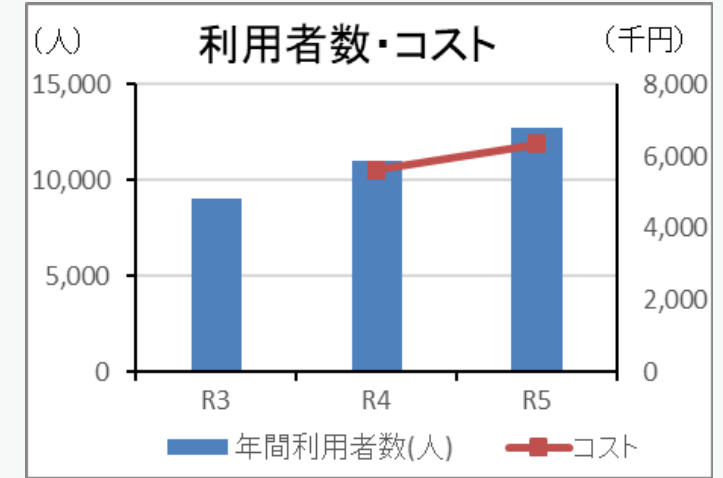
南中学校、築山小学校、中通小学校の併設校内に整備後、現施設を廃止

建物・機能評価（子育て支援系施設）



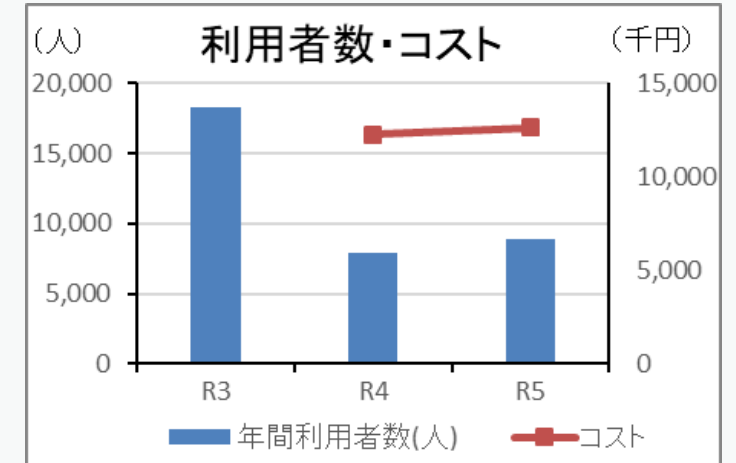
中通児童館

年間利用者数(人)	
R3	9,038
R4	11,053
R5	12,718
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	5,618
R5	6,351



築山児童センター

年間利用者数(人)	
R3	18,304
R4	7,933
R5	8,897
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	12,272
R5	12,654



中通児童館：領域Ⅰで、建物機能ともに良好

築山児童センター：領域Ⅲ、運営コストが高く、利用者は減少傾向

秋田テルサへの機能集約を検討する



短期（～令和13年）

中期～長期（令和14～令和28年）



西部体育館
築39年 996.56㎡



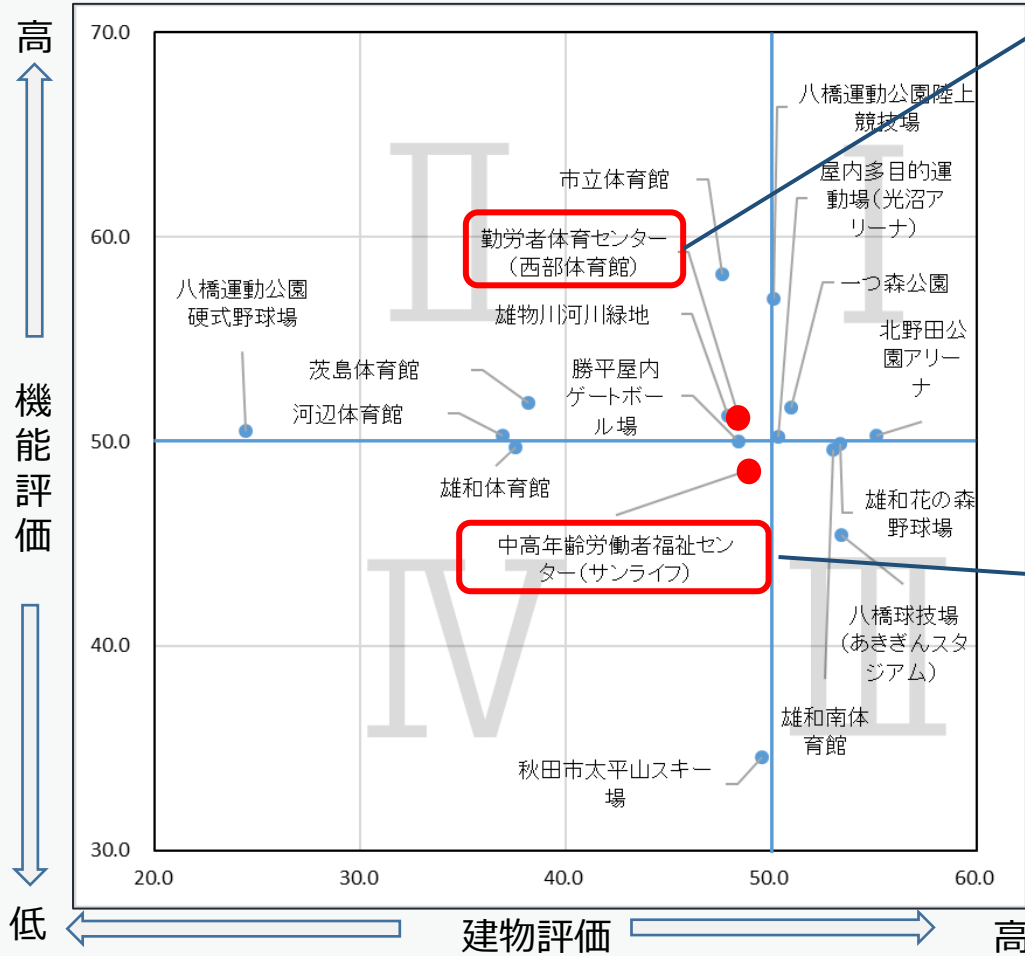
サンライフ秋田
築42年 2,822.37㎡



秋田テルサ
築33年 10,153.51㎡

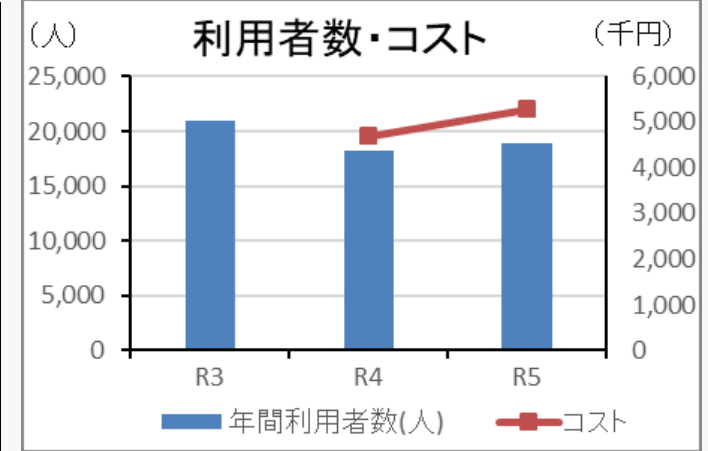
西部体育館・サンライフ秋田

建物・機能評価（スポーツ施設）



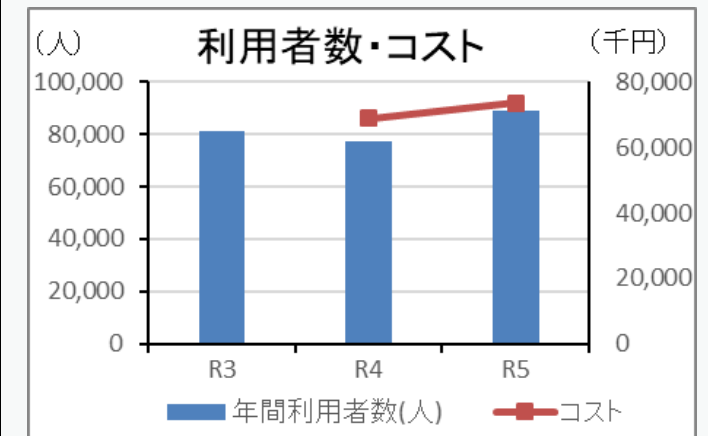
西部体育館

年間利用者数(人)	
R3	20,906
R4	18,161
R5	18,851
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	4,699
R5	5,277



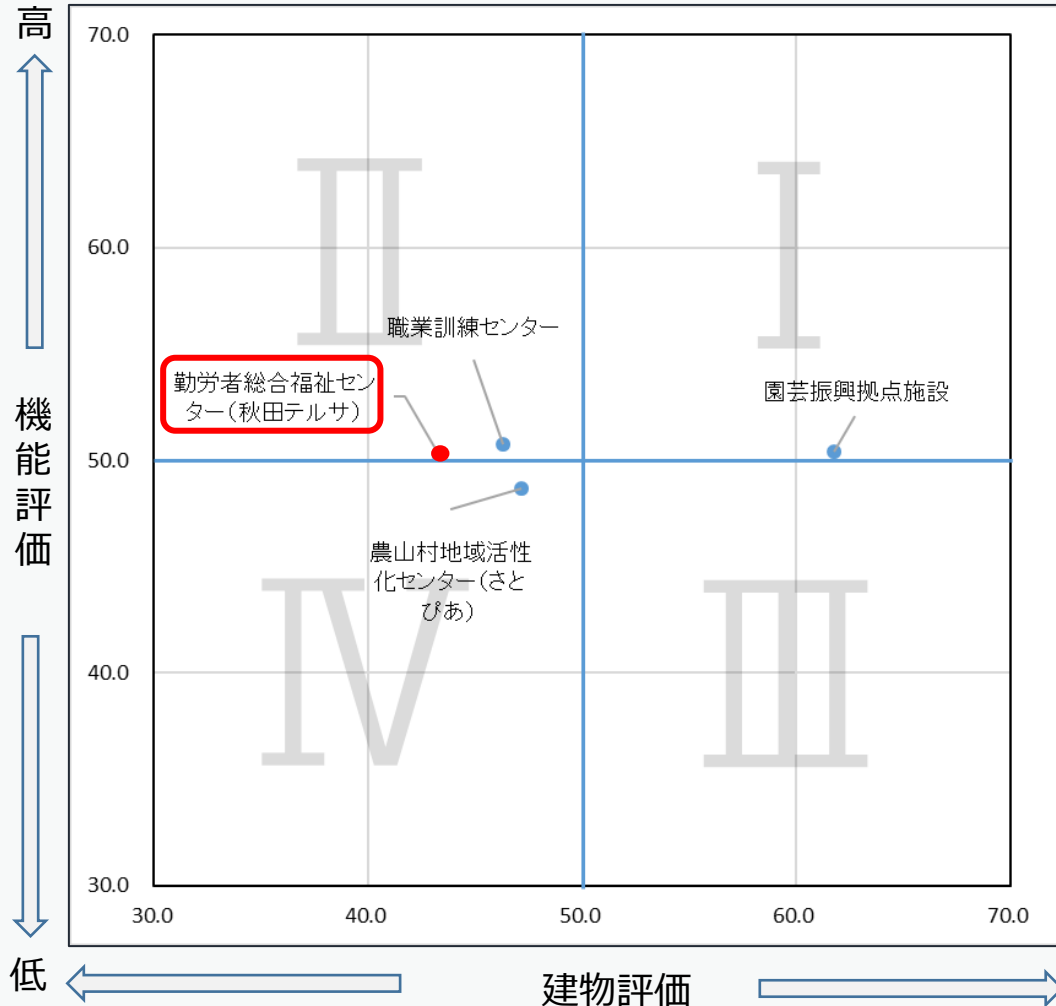
サンライフ秋田

年間利用者数(人)	
R3	81,360
R4	77,054
R5	88,890
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	68,834
R5	73,471

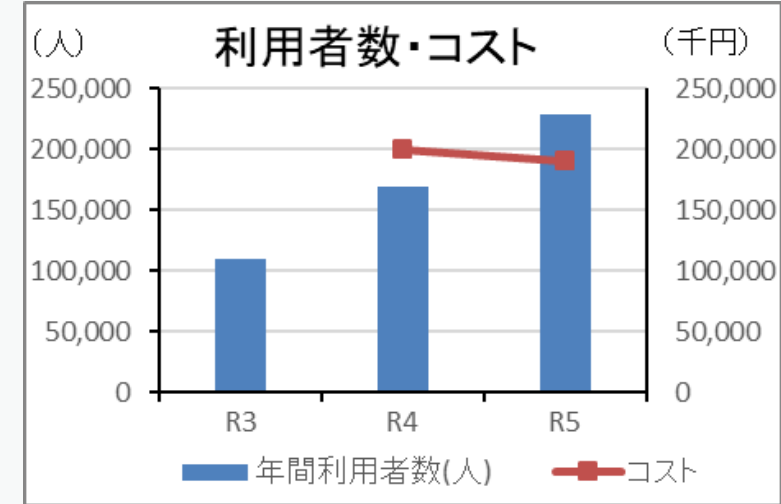


西部体育館：領域Ⅱで、建物評価がやや低い
サンライフ秋田：領域Ⅳで、建物および機能の
評価がやや低い

建物・機能評価（産業系施設）



年間利用者数(人)	
R3	109,419
R4	169,139
R5	228,104
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	200,135
R5	190,381



領域Ⅱで、建物評価がやや低い
利用者は増加傾向

雄和観光交流館への機能集約を検討する



取組時期：短期（～令和13年）



雄和サイクリングターミナル
築41年 1,414.08㎡



雄和農産物加工所
築32年 499㎡

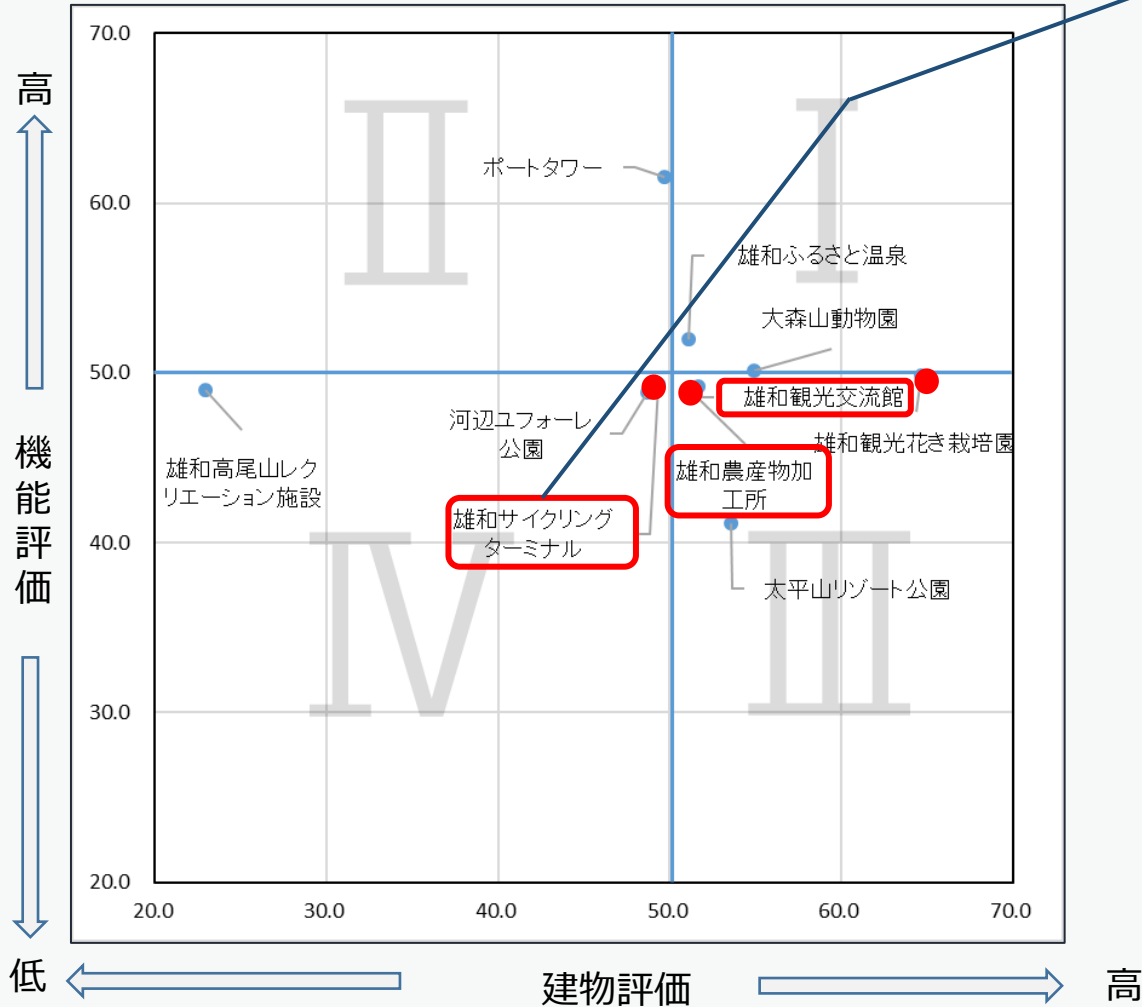


雄和観光交流館
築29年 1,395㎡

雄和観光交流館・雄和農産物加工所 雄和サイクリングターミナル

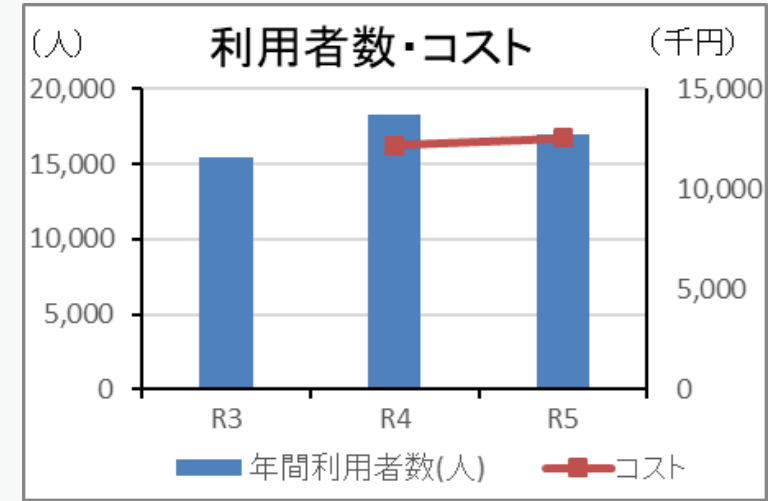
運営管理
指定管理者

建物・機能評価（レクリエーション・観光施設）

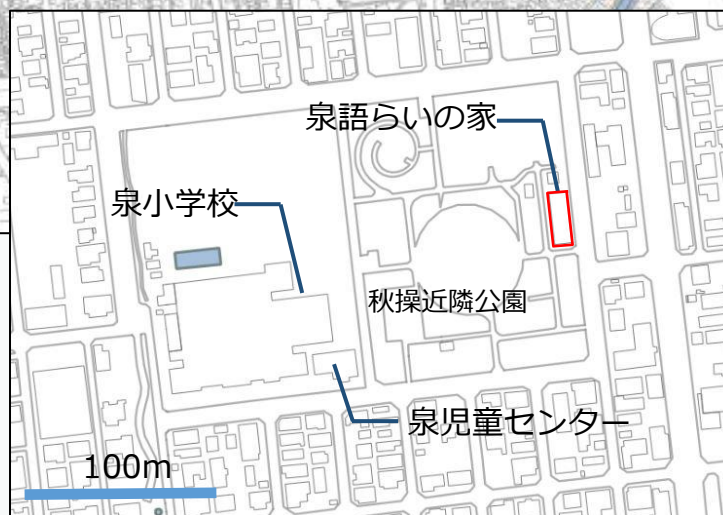


雄和サイクリングターミナル

年間利用者数(人)	
R3	15,443
R4	18,279
R5	16,949
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	12,196
R5	12,538



領域IVで、建物および機能の評価がやや低い

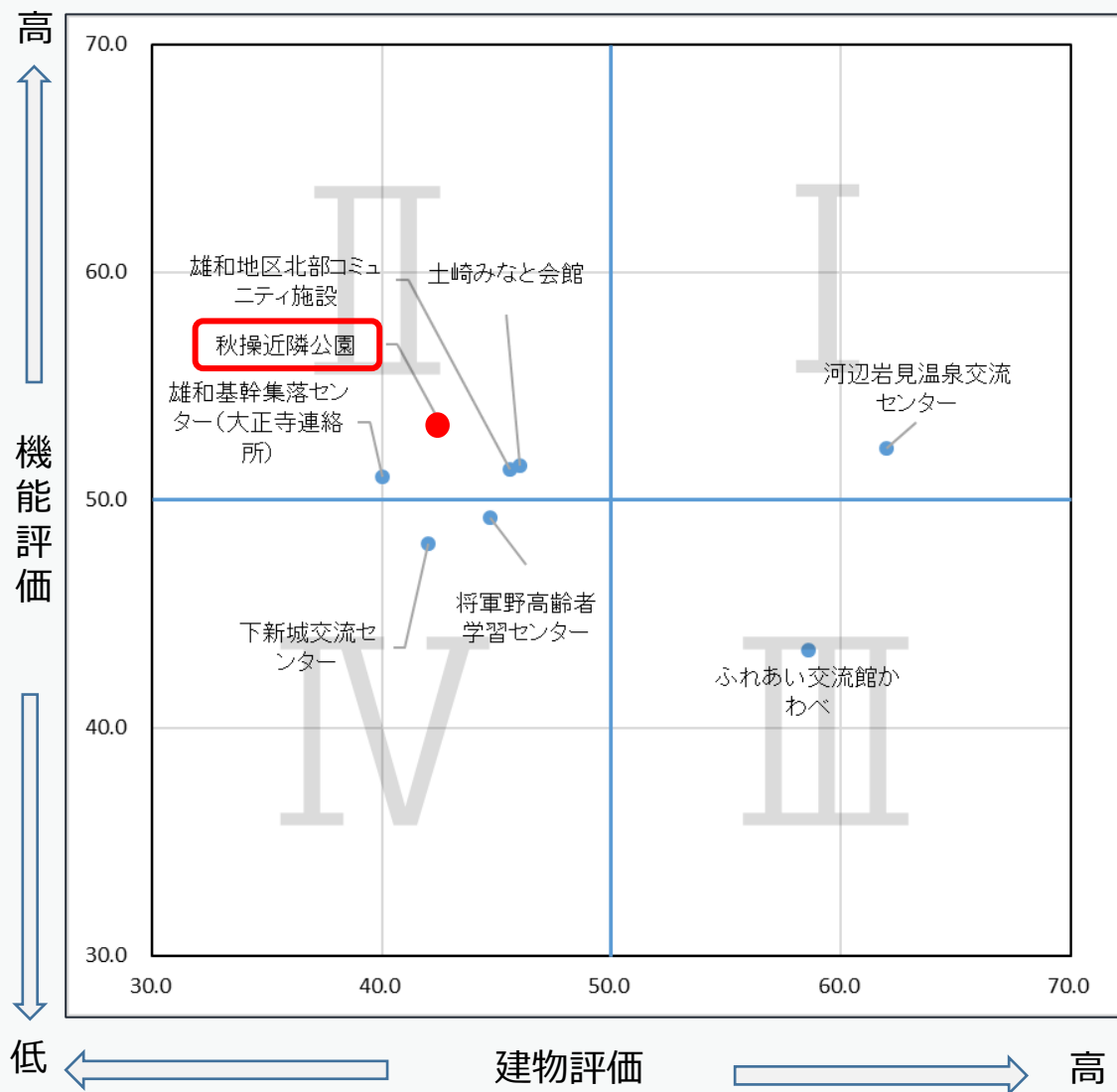


築42年 237.66㎡

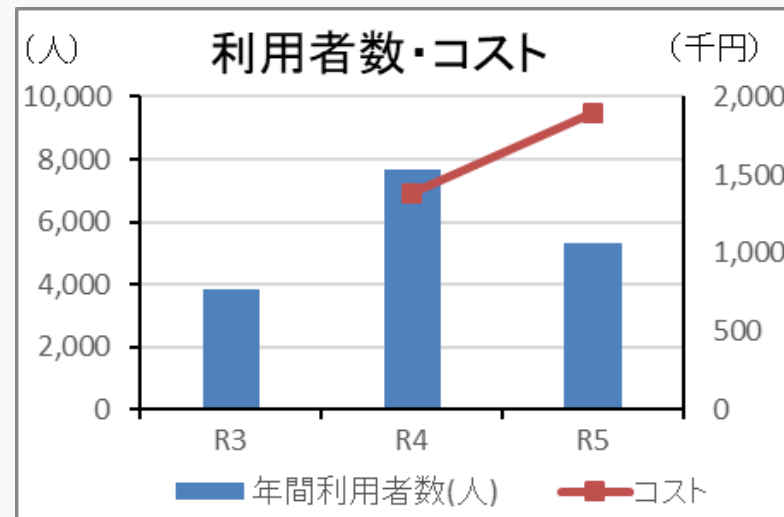
取組時期：長期
(令和19年～令和28年)

施設を維持しつつ、長期で
譲渡や他施設との集約を検
討する

建物・機能評価（その他集会施設）



年間利用者数(人)	
R3	3,831
R4	7,645
R5	5,345
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	1,383
R5	1,897



領域Ⅱで、建物の評価が低い

将軍野地区コミュニティセンター 将軍野高齢者学習センター

方針案 集約・複合化



将軍野地区コミュニティセンター
築40年 664.49m²

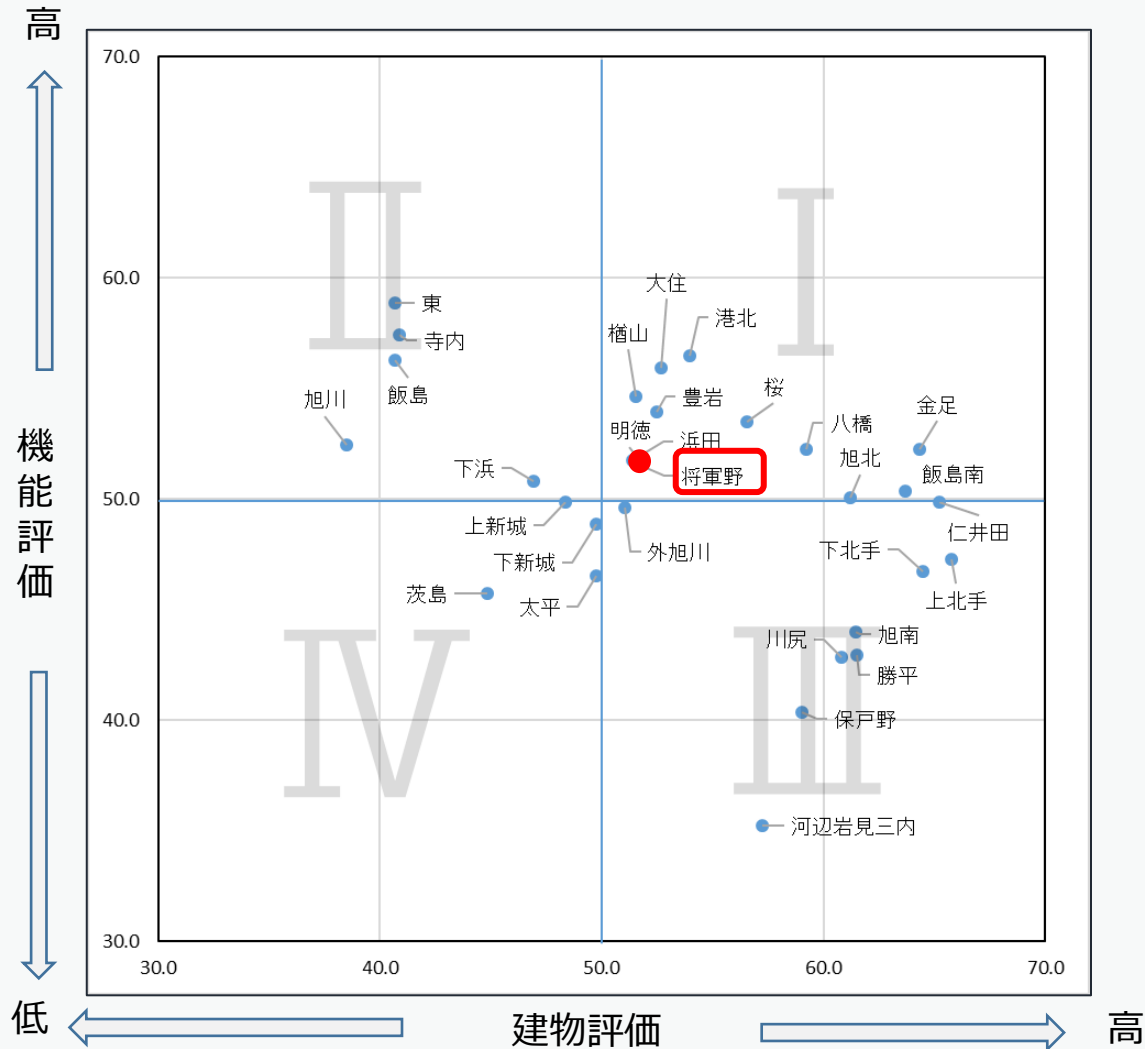


将軍野高齢者学習センター
築37年 274.93m²

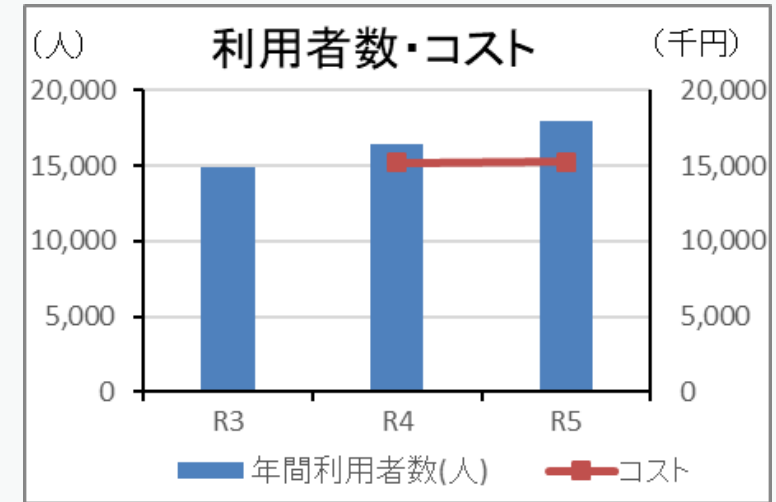
取組時期：中期（令和14年～令和18年）

将軍野地区コミセンへの機能集約を検討する

建物・機能評価（コミュニティセンター）



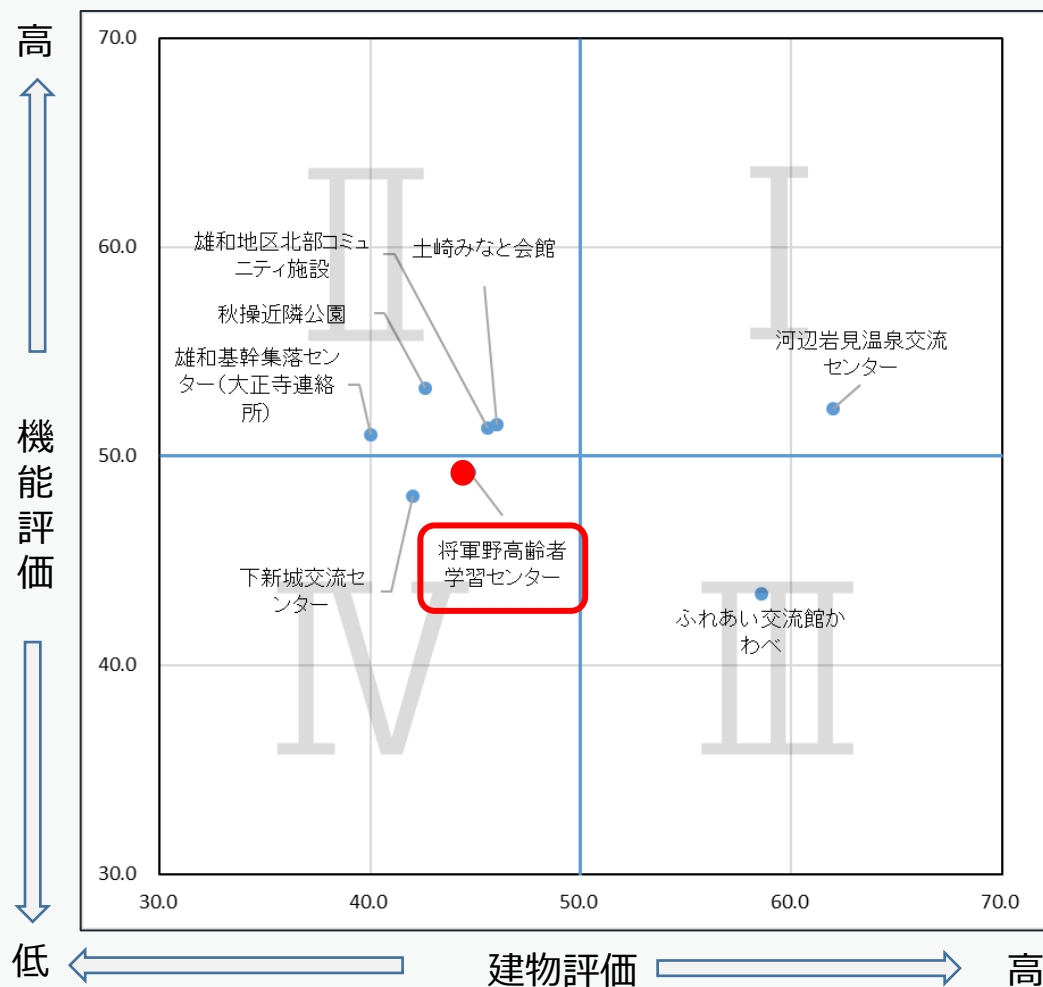
年間利用者数(人)	
R3	14,922
R4	16,415
R5	17,967
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	15,219
R5	15,247



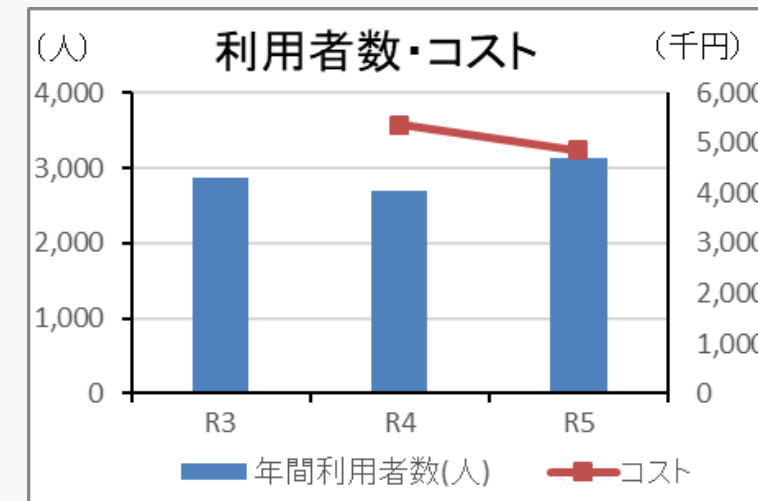
領域 I で、機能と建物ともに良好

※すべてコミュニティセンターを表す

建物・機能評価（その他集会施設）



年間利用者数(人)	
R3	2,866
R4	2,687
R5	3,131
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	5,373
R5	4,857

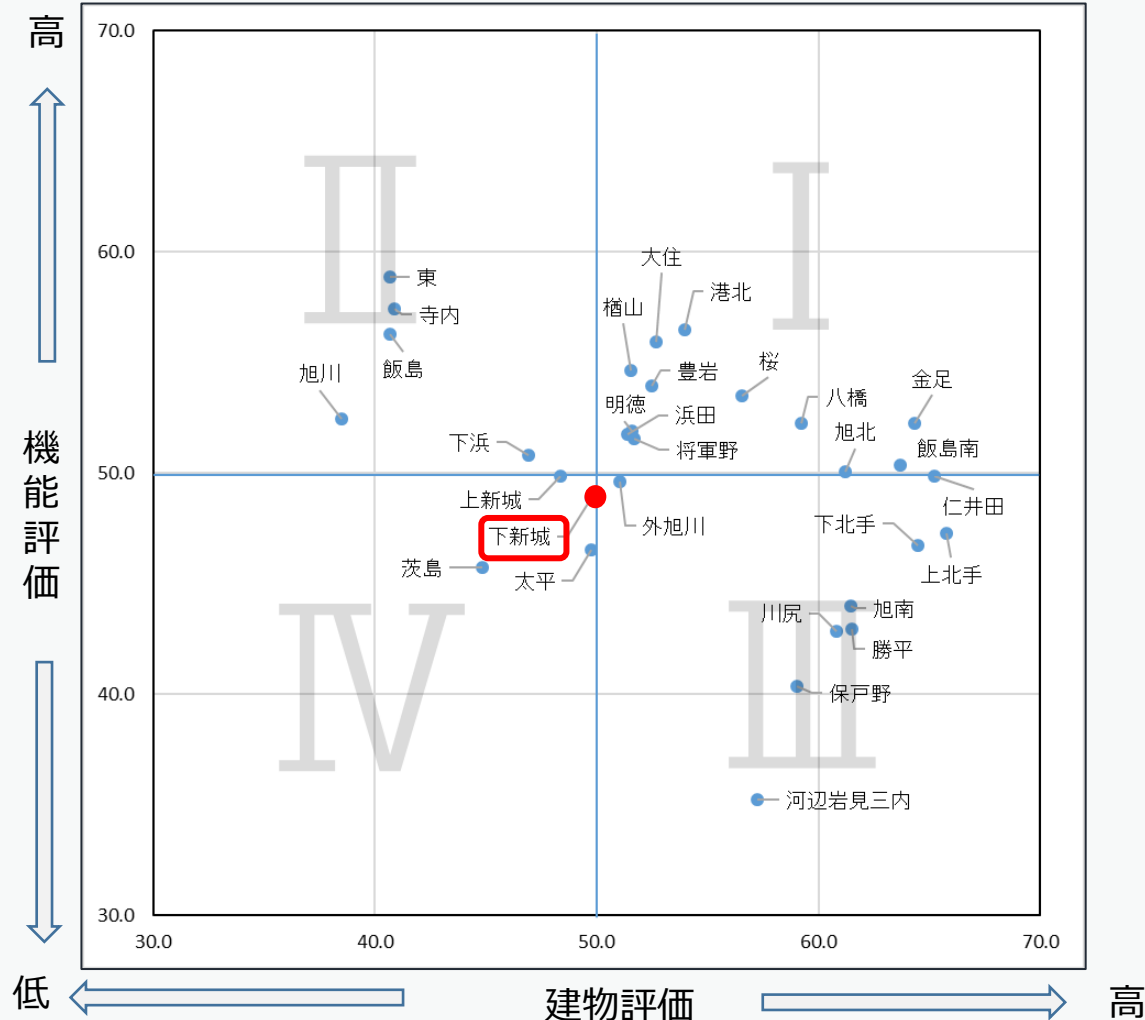


領域IVで、機能と建物ともに評価が低い

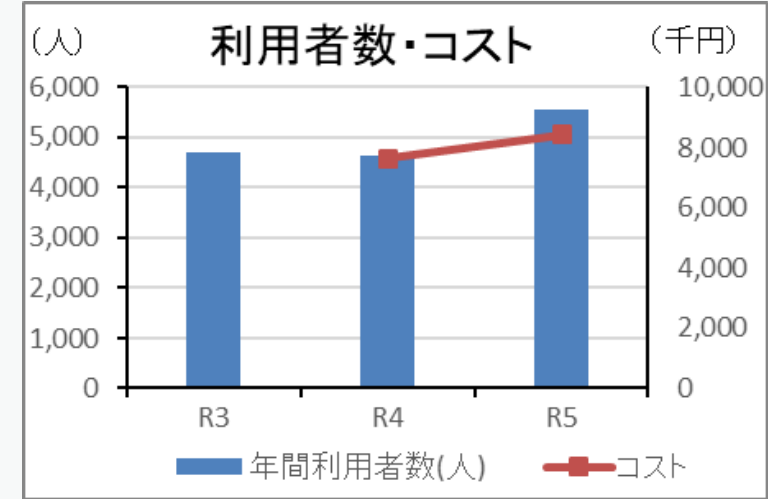
下新城地区コミュニティセンター

運営管理
指定管理者

建物・機能評価（コミュニティセンター）

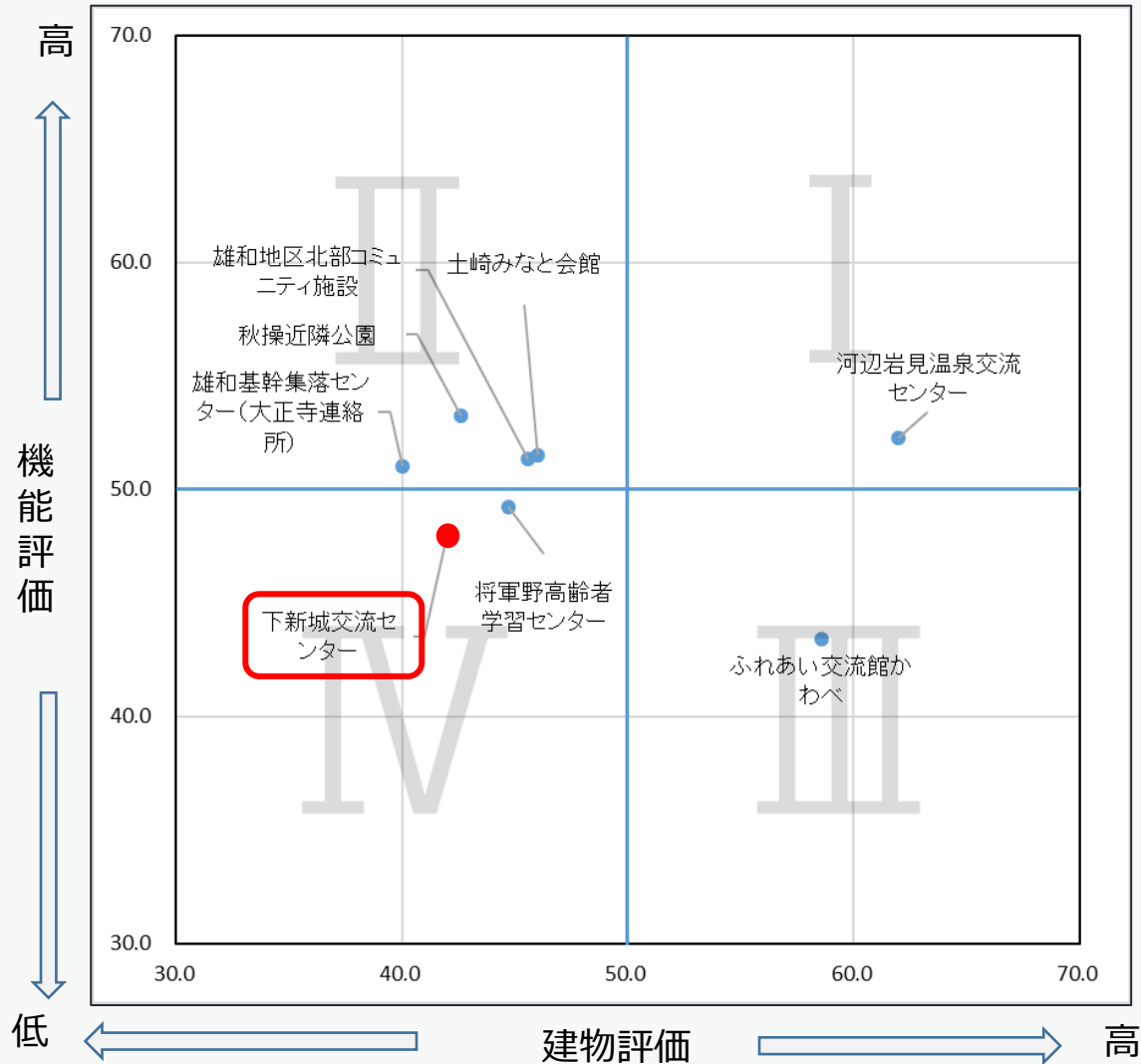


年間利用者数(人)	
R3	4,696
R4	4,623
R5	5,564
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	7,618
R5	8,429

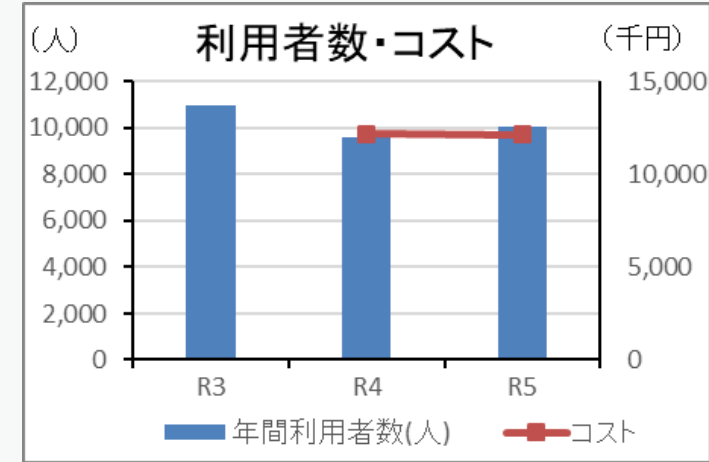


領域IVで、機能と建物ともに評価が低い

建物・機能評価（その他集会施設）



年間利用者数(人)	
R3	10,992
R4	9,620
R5	10,056
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	12,199
R5	12,148



領域IVで、機能と建物ともに評価が低い



※R8.3.31土崎小学校、土崎児童館→廃止

R8.4.1 土崎南小学校 → 土崎小学校へ名称変更

土崎南児童センター → 土崎児童センターへ名称変更



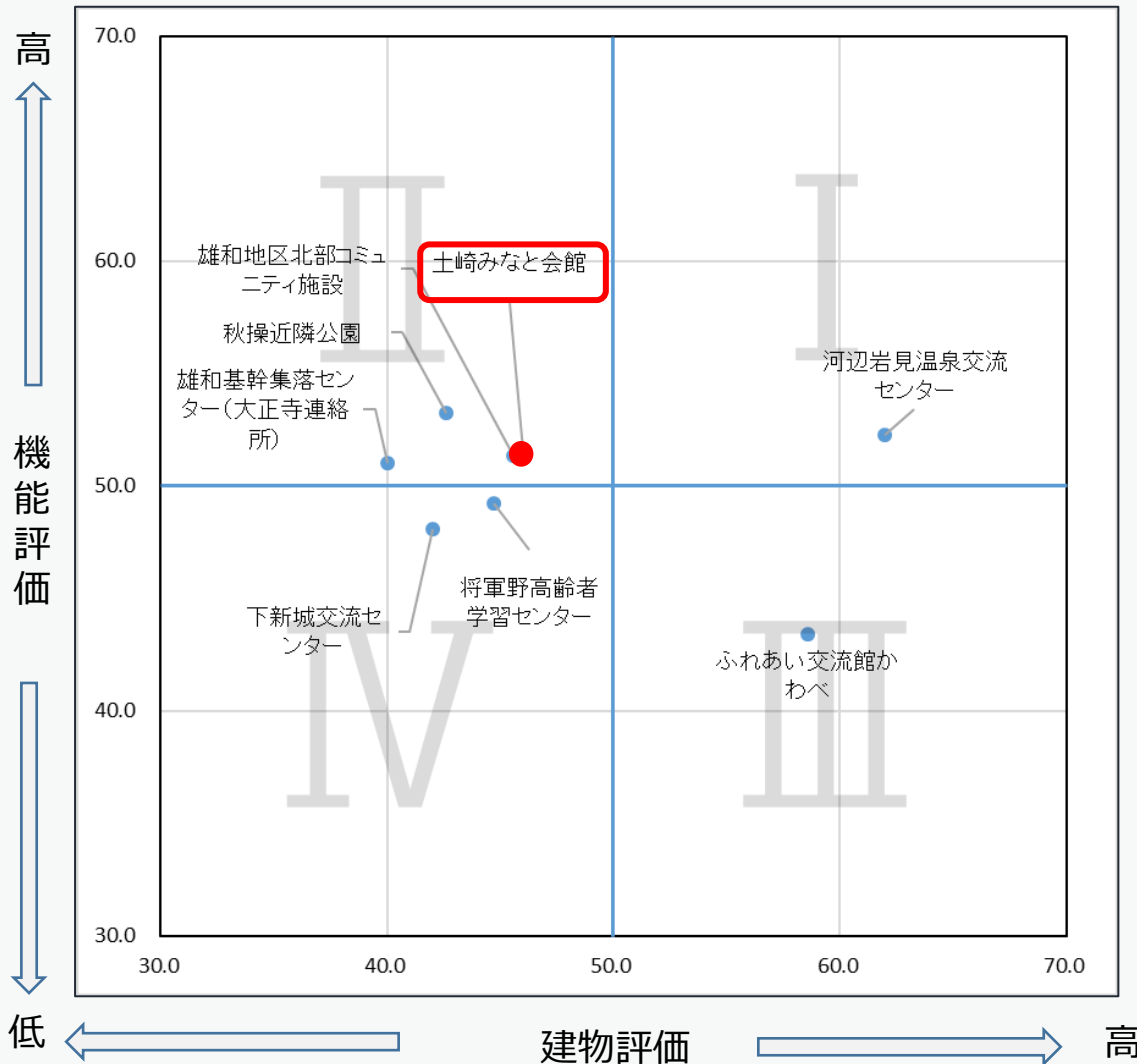
築40年 362.42m²

取組時期

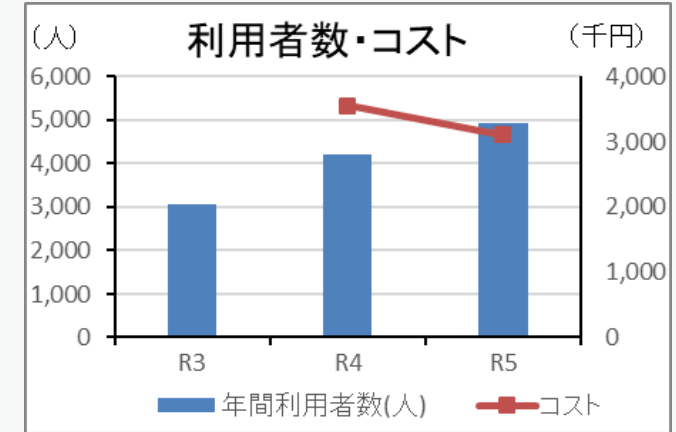
中期 (令和14年～令和18年)

集約・複合化により廃止を検討する 38

建物・機能評価（その他集会施設）



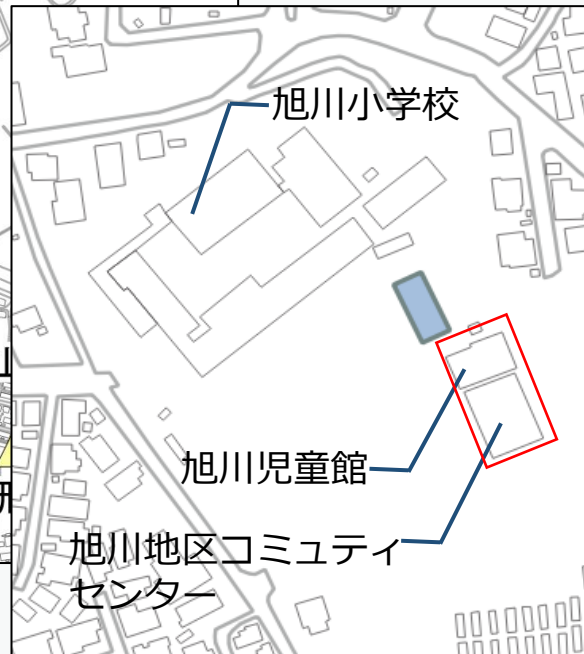
年間利用者数(人)	
R3	3,079
R4	4,202
R5	4,921
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	3,551
R5	3,111



領域Ⅱで、建物の評価が低い

旭川地区コミュニティセンター 旭川児童館

方針案 集約・複合化



旭川児童館 築40年 297㎡



旭川地区コミュニティセンター
築49年 754.39㎡

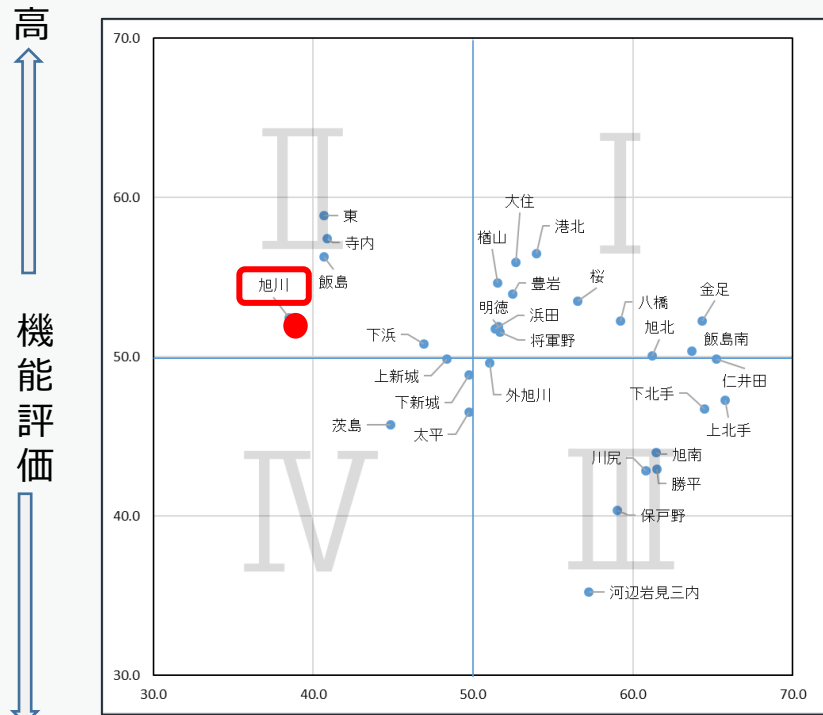
中期（令和14年～令和18年）

児童館について小学校またはコミセンのいずれかへの集約・複合化を検討する

旭川地区コミュニティセンター 旭川児童館

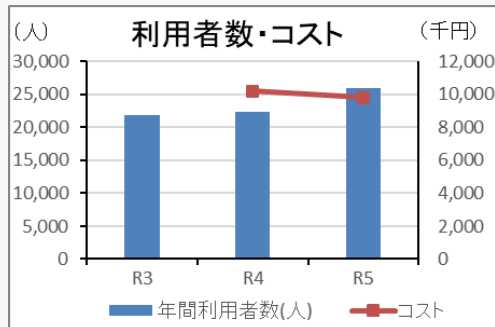
運営管理 コミセン：指定管理
児童館：秋田市

建物・機能評価（コミュニティセンター）

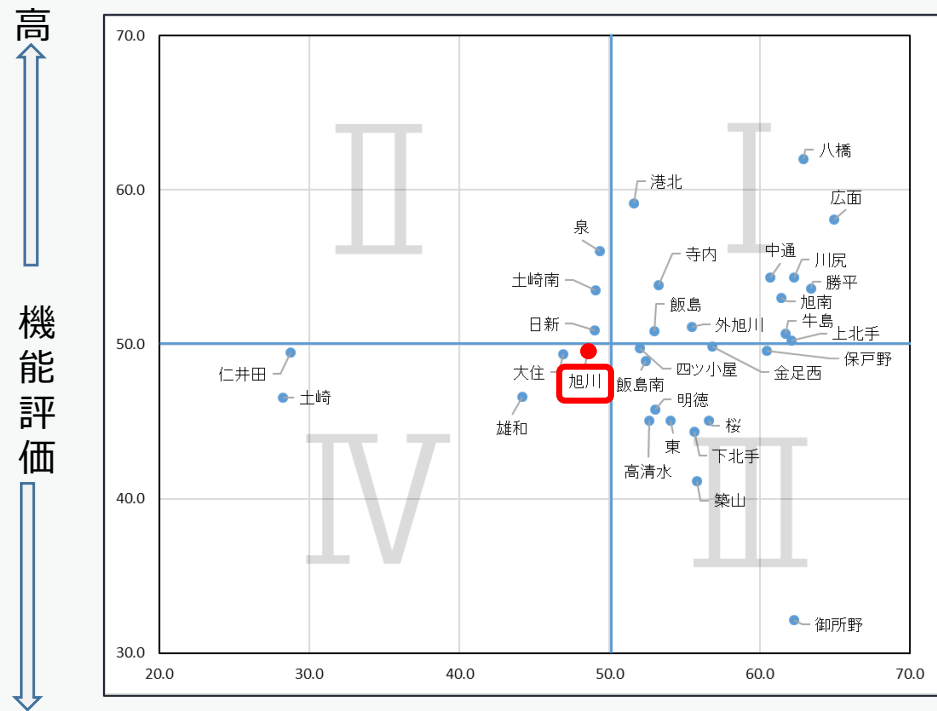


高 ↑ 機能評価 ↓ 低
← 建物評価 → 高

年間利用者数(人)	
R3	21,880
R4	22,312
R5	26,043
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	10,221
R5	9,828

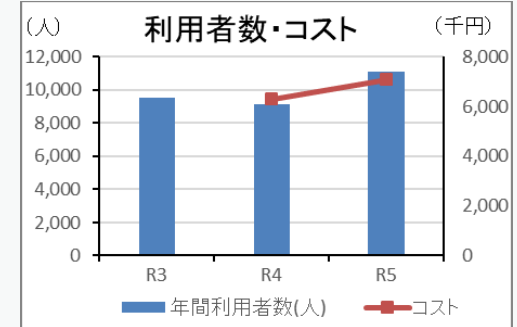


建物・機能評価（児童館）



高 ↑ 機能評価 ↓ 低
← 建物評価 → 高

年間利用者数(人)	
R3	9,540
R4	9,149
R5	11,133
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	6,295
R5	7,078



取り組み時期：短期（～令和13年）

雄和 雄和高尾山レクリエーション施設

北部 飯島老人いこいの家
（令和10年3月廃止）

中期（令和14年～令和18年）

東部 駅東工事事務所

南部 御所野交流センター

河辺 ふれあい交流館かわべ



長期（令和19年～令和28年）

雄和 糠塚市営住宅

雄和 糠塚市営住宅（その他）

雄和 糠塚一般特定住宅



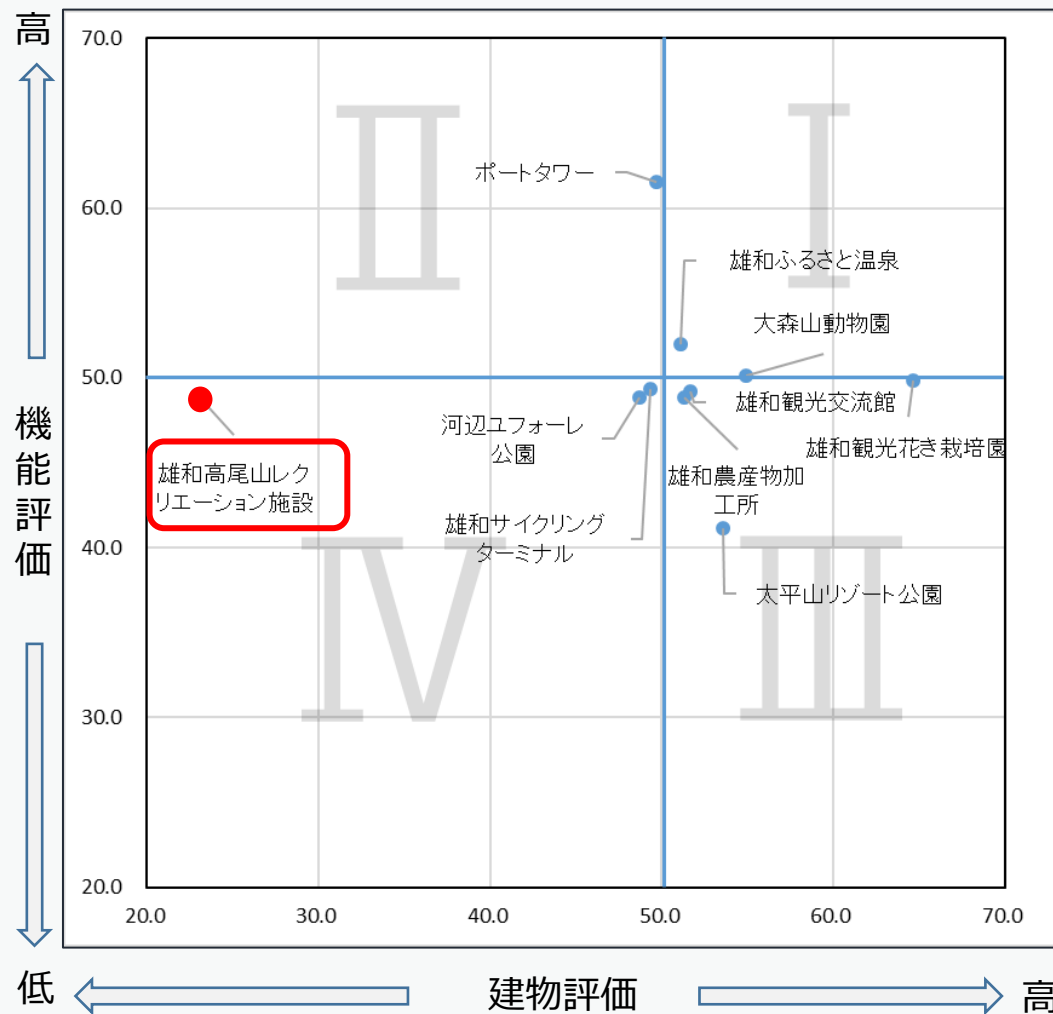
築53年 227m²

取組時期

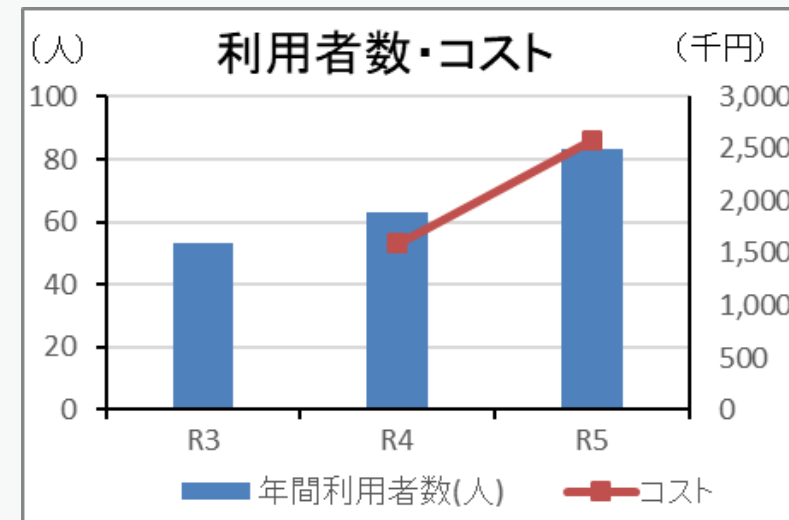
短期（～令和13年）

利用者が少なく、アクセス道路も狭隘なことから施設廃止もしくは一部機能を残す検討を行う

建物・機能評価 (レクリエーション・観光施設)



年間利用者数(人)	
R3	53
R4	63
R5	83
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	1,595
R5	2,586



領域IVで、建物の評価が特に低い



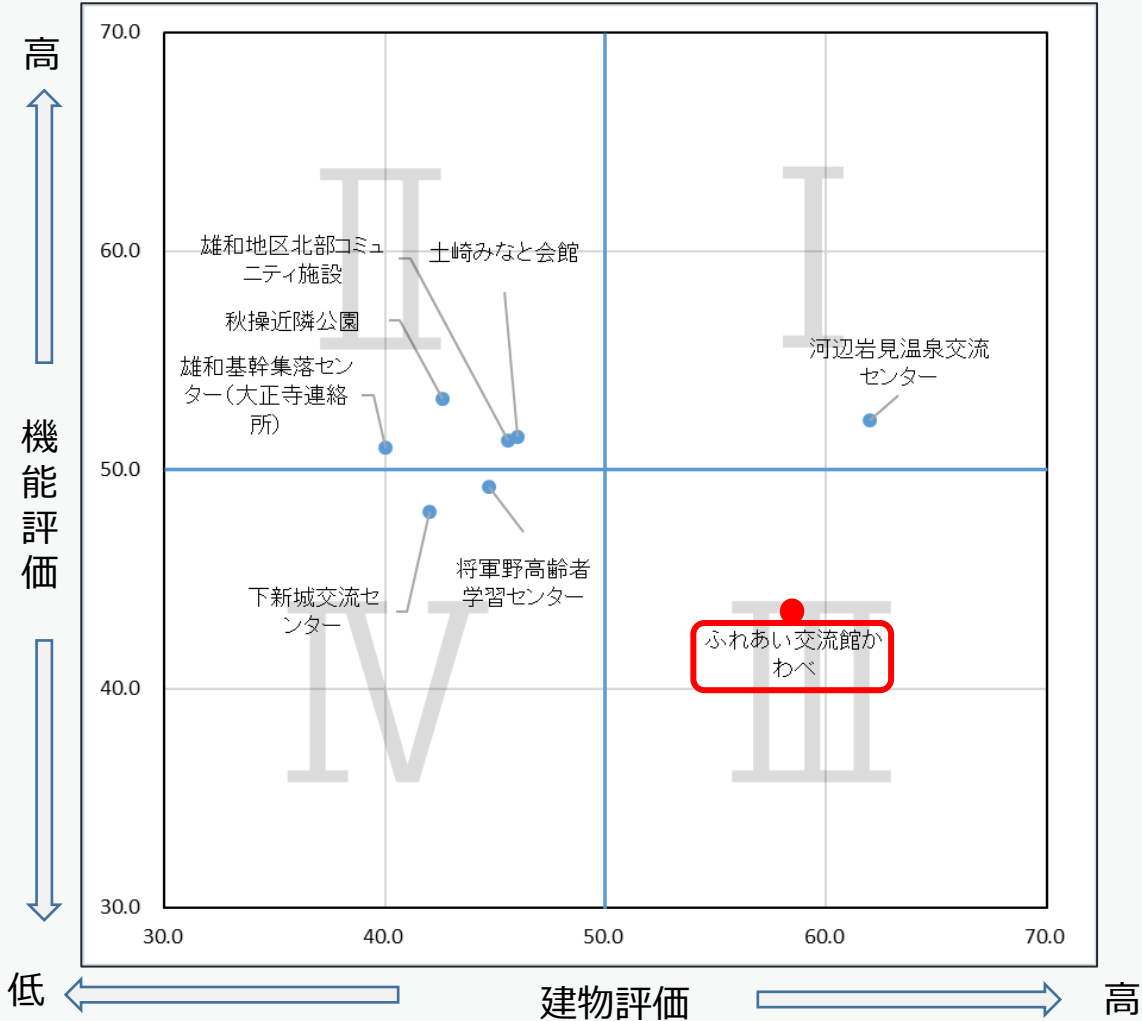
J R 和田駅舎内
築23年 762.45m²

取組時期

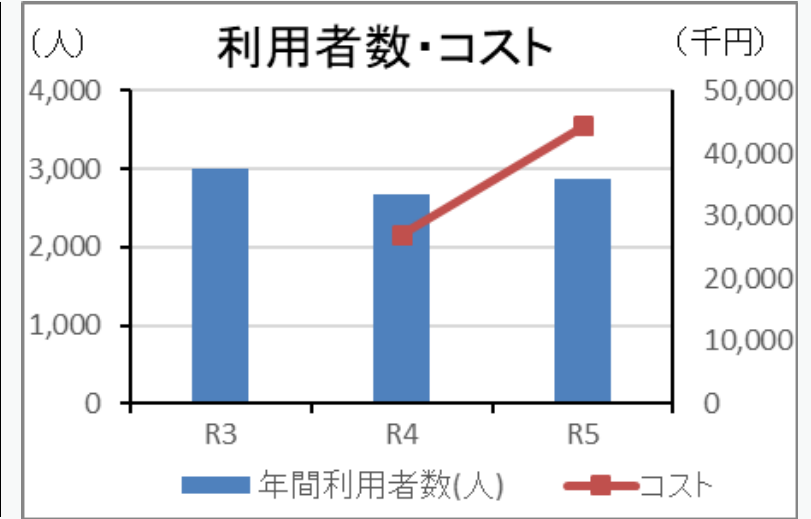
中期（令和14年～令和18年）

J R 和田駅内に設置。運営形態の見直しと共に、用途変更等を含め施設の有効活用を検討する

建物・機能評価（その他集会施設）



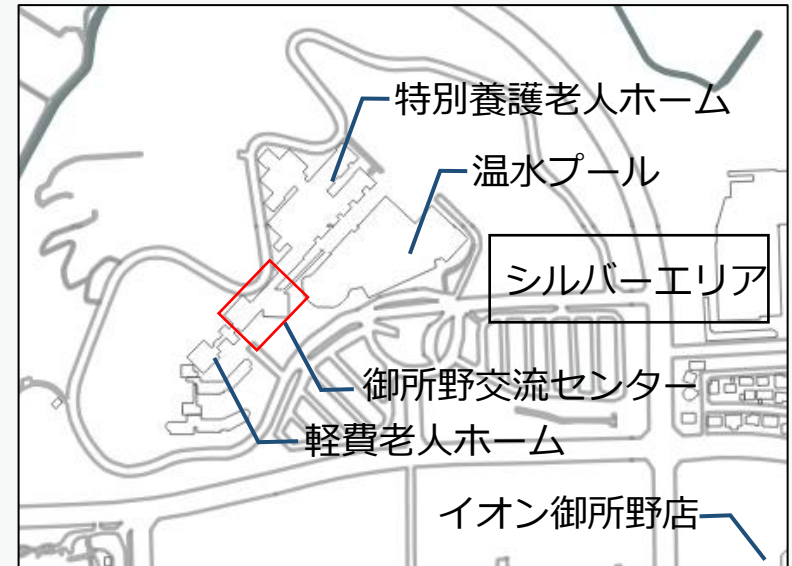
年間利用者数(人)	
R3	2,994
R4	2,670
R5	2,869
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	26,972
R5	44,235



領域Ⅲで、機能の評価が低い



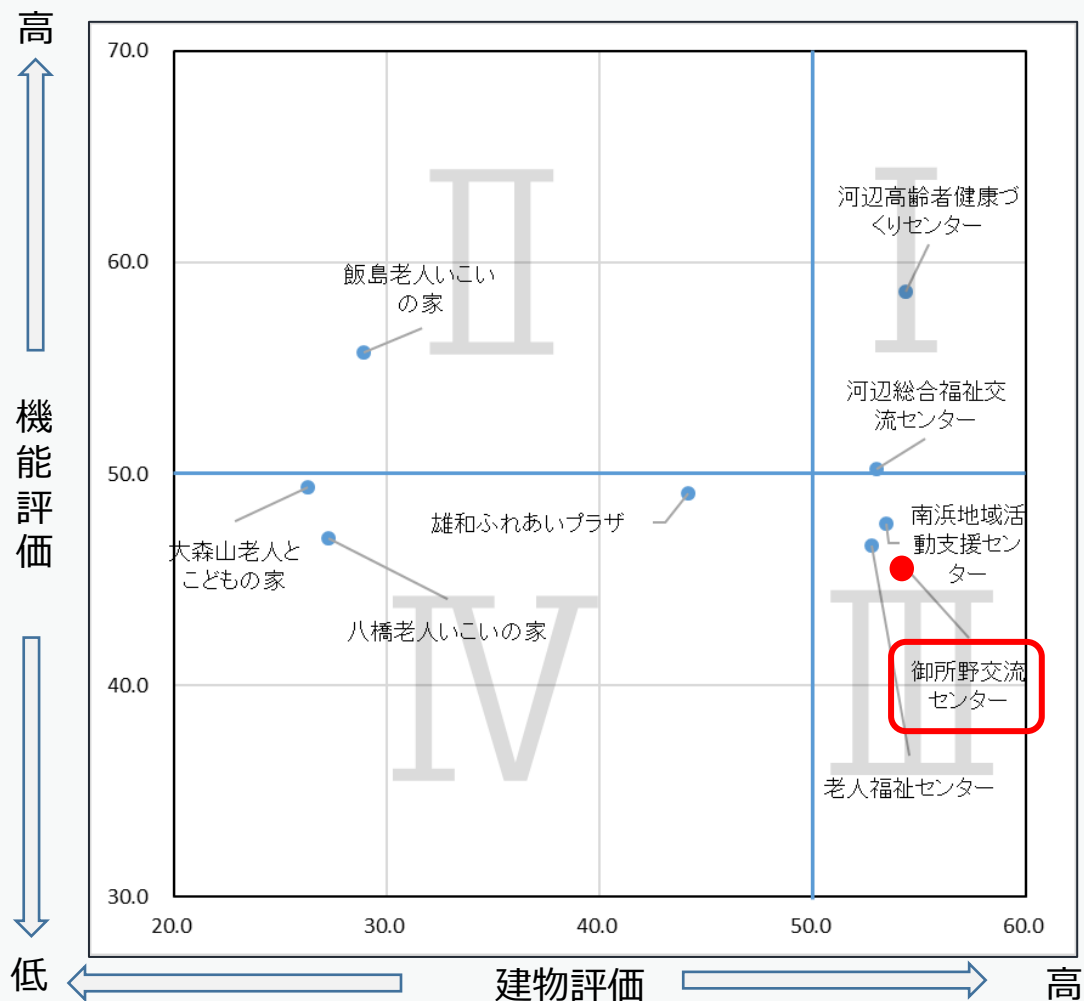
築29年 1,532.24m²



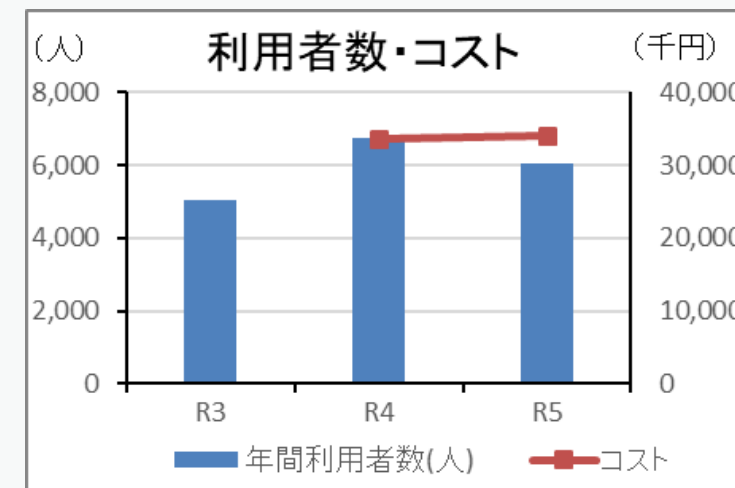
中期（令和14年～令和18年）

用途変更等を含め、
施設の有効活用を検討する

建物・機能評価（保健・福祉施設）



年間利用者数(人)	
R3	5,037
R4	6,747
R5	6,048
コスト(支出-収入)(千円)	
R4	33,588
R5	34,024



領域Ⅲで、機能の評価が低い

各地域

各市民サービスセンター
市立図書館

北部

ポートタワーセリオン

中央

市立体育館
八橋運動公園陸上競技場

東部

ザ・ブーン
市民交流プラザ（秋田駅直結アルヴェ内）

西部

大森山動物園
新屋ガラス工房

計 1 1 3 施設を維持

コミュニティセンター

所管部局で施設全体のあり方を検討予定。その結果を踏まえ適時方針を見直す。

児童館・児童センター

原則として小学校との複合化を第一に検討。今後の学校統合によって方針は変更となる。

小中学校

児童の減少下における教育環境の維持を目的に、別途、適正配置の協議が行われている。

市営住宅

老朽化・入居状況・需要変化・立地環境を踏まえ、地域内での集約や減戸等を検討する。

4 今後のスケジュール

今後のスケジュール

4～7月

住民説明会等の開催

地域	パネル展	説明会 開催日	説明会 会場
中央	4月20日(月)～4月24日(金) 秋田市役所	4月24日(金)	中央市民サービスセンター 洋室4(秋田市役所3階)
東部	5月11日(月)～5月15日(金) 東部市民サービスセンター	5月15日(金)	西部市民サービスセンター 洋室1、2、3
西部	5月25日(月)～5月29日(金) 西部市民サービスセンター	5月29日(金)	東部市民サービスセンター 洋室6、7
南部	6月1日(月)～6月5日(金) 南部市民サービスセンター	6月4日(木)	南部市民サービスセンター 地域文化ホール
北部	6月22日(月)～6月26日(金) 北部市民サービスセンター	6月26日(金)	北部市民サービスセンター 地域文化ホール
河辺	7月6日(月)～7月10日(金) 河辺市民サービスセンター	7月10日(金)	河辺市民サービスセンター 地域文化ホール
雄和	7月13日(月)～7月17日(金) 雄和市民サービスセンター	7月17日(金)	雄和市民サービスセンター 地域文化ホール
中央	7月27日(月)～7月31日(金) 秋田市役所	7月31日(金)	中央市民サービスセンター 洋室4(秋田市役所3階)

今後のスケジュール

4～7月

● 住民説明会等の開催

6月

● 市議会定例会（説明会等の中間報告）

7月

● パブリックコメントの実施

9月

● 方針の取りまとめ、市議会定例会（実施方針の説明→決定）



秋田市の公共施設の未来に向けて

多くの公共施設を
現状のまま維持し続けることは困難

将来世代へ負担を先送りしないために、
施設の総量を見直しつつ、サービスを維持

➡ **目指すは保有量の見直しと効率的な施設運営**

実施方針決定後は

- ・ 実施方針を踏まえて取り組みを進める
- ・ 社会情勢やニーズの変化を考慮し、
おおむね5年ごとに方針を見直す



～皆様のご意見をお寄せください～

**保有優先度評価の方針案は
秋田市ホームページで公開しています**

右下のQRコードからご覧になれます

**スマホで回答できるアンケートもございますので
ぜひご意見をお寄せください**

**秋田市財政部公共施設マネジメント室
018-888-5441**

